

平成24年度

39期生

## 第6回 校内模擬試験

H24. 11. 5実施

# 解答・解説

解答・解説	
人体（歯・口腔を含む）の構造と機能	
1	<p><b>解答：b</b></p> <p>頭部の筋は表情筋と咀嚼筋からなる。表情筋は頭蓋骨から起こり、顔面の皮膚に付く薄い筋で、顔の表情をつくる。一方、咀嚼筋は下顎を動かす強大な筋で、下顎枝の外面にある咬筋と側頭筋と、内面にある内側翼突筋と外側翼突筋からなり、咀嚼運動を行う。表情筋と咀嚼筋の起始、停止、作用、神経支配は重要なので必ず理解しておく。</p> <p>a × 外側翼突筋の上部は蝶形骨の側頭下面から、下部は翼状突起外側板から起こる。</p> <p>b ○ 問題の部位は頬骨弓の下面で、咬筋がこの部位より起こる。</p> <p>c × 側頭筋は側頭骨の側頭窩から起こる。</p> <p>d × 内側翼突筋は翼状突起の翼突窩から起こる。</p> <p><b>文献：</b>解剖学・組織発生学・口腔解剖学 200-201 最新歯科衛生士教本 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 34-37</p>
2	<p><b>解答：b、d</b></p> <p>上下の歯列と口唇・頬との狭い空隙を口腔前庭といい、歯列の内側を固有口腔という。</p> <p>a × 舌小帯は舌下面正中中部と下顎歯槽部正中に広がる薄い粘膜のヒダであり、固有口腔にある。</p> <p>b ○ 上唇小帯は上顎左右中切歯間の歯槽粘膜から上唇粘膜に走るヒダである。</p> <p>c × 切歯乳頭は口蓋正中線の前端で、中切歯のすぐ後ろにある隆起であり、固有口腔にある。</p> <p>d ○ 耳下腺乳頭は上顎第二大白歯に面する頬粘膜にある隆起で、耳下腺管の開口部である。</p> <p><b>文献：</b>解剖学・組織発生学・口腔解剖学 168-173 最新歯科衛生士教本 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 11-12</p>
3	<p><b>解答：a、b</b></p> <p>a ○ 棘突起は基底結節から舌側面窩に向かって伸びる1~3の突起で、上顎の中切歯と犬歯にみられる。</p> <p>b ○ 介在結節の出現頻度は上顎第一小臼歯の近心辺縁隆線上が最も高い。</p> <p>c × カラベリー結節は上顎の大白歯と乳臼歯にみられる。</p> <p>d × ドリオピテクス型はY字形の溝をもつ5咬頭の下顎大白歯で、類人猿と人類に共通な特徴である。</p> <p><b>文献：</b>解剖学・組織発生学・口腔解剖学 238-261 最新歯科衛生士教本 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 157-158、165-167、173-180</p>
4	<p><b>解答：c</b></p> <p>上皮の分類および存在する組織を理解する。</p> <p>a × おもに角化重層扁平上皮からなる。一部角化していない部位が存在する。</p> <p>b × 単層円柱上皮からなる。消化器系（胃から大腸まで）にみられる。</p> <p>c ○ 多列上皮からなる。一般的に気道にみられる上皮には線毛が存在しており、多列線毛上皮ともよばれる。</p> <p>d × 移行上皮からなる。</p> <p><b>文献：</b>解剖学・組織発生学・口腔解剖学 102-104 最新歯科衛生士教本 解剖学・組織発生学・生理学 22-25 ポイントチェック① 第4版2</p>
5	<p><b>解答：b</b></p> <p>エネルギーの産生に関与する細胞小器官はミトコンドリアである。クエン酸回路（トリカルボン酸サイクル）、電子伝達系、β-酸化はミトコンドリアで行われる。</p> <p>a × リボソームである。</p> <p>b ○ ミトコンドリアである。</p> <p>c × 核である。</p> <p>d × 粗面小胞体である。</p> <p><b>文献：</b>栄養指導・生化学 154-156 最新歯科衛生士教本 栄養と代謝 6-8</p>

## 解答・解説

- 6 **解答**: c  
 血球には赤血球、白血球、血小板があり、骨髄でつくられる。血小板と止血機序との関わりについて理解する。
- a × 単球は白血球の1つであり、血液から組織中に出て組織マクロファージとなる。そして、細菌を捕食してその抗原情報をリンパ球に伝える。
- b × 赤血球は核のない円盤状の細胞で、中央がくぼんでいる。中にヘモグロビンと炭酸脱水酵素を含み、前者はおもに酸素(O<sub>2</sub>)・炭酸(CO<sub>2</sub>)ガスの運搬とpHの調節に働き、後者は炭酸ガス運搬の促進に働く。
- c ○ 血小板は損傷した血管壁に集まり、その部で偽足状の突起により互いに粘着、凝集を起こして血栓を形成し、止血を行う(一次止血)。さらに、血液凝固反応が起こることによって止血はより強力となる(二次止血)。
- d × 白血球の1つであるリンパ球にはBリンパ球とTリンパ球の2種類があり、抗原情報を受けたBリンパ球は形質細胞に分化して抗体を産生、免疫作用を発現する。

**文献**: 生理学 14-21  
 最新歯科衛生士教本 解剖学・組織発生学・生理学 116-121

- 7 **解答**: c  
 血圧測定により、最高(収縮期)血圧と最低(拡張期)血圧が得られる。健康なヒトで最高血圧が120 mmHg (110-130 mmHg) 最低血圧が80 mmHg (65-85 mmHg) とされている。この2つの数値から得られるのが脈圧である。
- a ×
- b ×
- c ○ 最高血圧と最低血圧の圧差を脈圧という。健康なヒトで40-50 mmHgである。
- d ×

**文献**: 生理学 27-28  
 ポイントチェック① 第4版 35

- 8 **解答**: a  
 ③はマイスネル小体を示し、触覚の受容器である。①は自由神経終末、②はメルケル盤、④はルフィニ小体を示す。
- a ○
- b × 冷覚は自由神経終末が受容器である。
- c × 痛覚は自由神経終末が受容器である。
- d × 深部感覚は筋・腱・骨膜・関節などで受容する。

**文献**: 生理学 66-67  
 最新歯科衛生士教本 解剖学・組織発生学・生理学 191-198  
 ポイントチェック① 第4版 41

- 9 **解答**: d  
 反射とは感覚神経が伝えた興奮を意志と無関係に運動神経に送り、効果器に反応が現れる現象である。受容器→感覚神経→反射中枢→運動神経→効果器からなる反射経路を反射弓という。下顎張反射は一過性に急に閉口筋(咬筋、側頭筋、内側翼突筋)を引き伸ばすと閉口筋中の筋紡錘が伸張されて興奮し、結果として閉口筋が収縮して口を閉じる反射である。その反射弓をみると、受容器である筋紡錘から出た感覚神経は三叉神経中脳路核に細胞体をもち、これらの神経の末端が三叉神経運動核中の運動ニューロンにシナプス結合して、最終的に効果器である閉口筋にいたる。
- a × 三叉神経中脳路核である。
- b × 三叉神経運動核である。ここで筋紡錘の求心性線維(感覚神経)が遠心性線維(運動神経)にシナプス結合する。
- c × 咬筋である。下顎張反射では、この閉口筋が効果器として収縮し、口を閉じる。
- d ○ 下顎張反射の受容器は咬筋中にある筋紡錘であり、開口によって伸張された場合に活動して開口度を脳に伝える。

**文献**: 生理学 54-58、118  
 最新歯科衛生士教本 解剖学・組織発生学・生理学 82-83、168-170

## 解答・解説

## 疾病の成り立ち及び回復過性の促進

- 10 **解答**: d  
 細胞や組織が傷害されて生じる局所的な死を壊死といい、壊死部が腐敗菌の感染や乾燥によって二次的に変化したものを壊疽という。
- a × 脳梗塞は液化壊死の代表例である。
- b × 心筋梗塞は凝固壊死の代表例である。
- c × 乾性壊疽は壊死部分から急速に水分が失われミイラ化をきたすことをいう。結核病巣にみられる乾酪壊死は凝固壊死の例である。
- d ○ 湿潤壊疽巣にガス発生力の強い腐敗菌が増殖したものをガス壊疽という。

**文献**: 病理学 18-19  
 ポイントチェック① 第4版 115

- 11 **解答**: a  
 循環血液量の障害により、生体はさまざまな症状を呈する。充血は、臓器・組織が機能を営んでいるときや血管運動神経の異常の際に生じる。炎症の五徴候の発赤や発熱は、充血による症状である。
- a ○ 充血は局所の動脈血が増加した状態であり、その部位は発赤し温度が上がって熱感もち、容積が増大する。
- b × 虚血(局所貧血)は局所を循環する血液量が異常に減少した状態をいう。
- c × ショックとは急激な血圧低下に伴い皮膚の蒼白、徐脈または頻脈、冷汗、意識障害などの症状を呈する状態の総称である。
- d × うっ血が長引くと皮膚、口唇、爪床が青紫色を呈する。このようなうっ血による変化をチアノーゼといい、血中の酸化ヘモグロビンが減少し還元ヘモグロビンが増加するために生じる。

**文献**: 病理学 35-36  
 ポイントチェック① 第4版 111

- 12 **解答**: b  
 a × 誘導期である。細菌が新しい環境に適応するための増殖を始める前の準備期間である。
- b ○ 対数増殖期である。豊富な栄養状態など増殖環境が良好であり、菌が一定の世代時間(倍化時間)で増殖している期間である。縦軸が対数目盛のグラフでは右肩上がりの直線となる。
- c × 定常期である。菌数が増加すると、栄養不足と代謝産物の蓄積が生じ、増殖環境が悪化する。この時期には世代時間が延長し、一部の細菌の死滅も始まるため、生菌数は一定となる。
- d × 死滅期である。定常期よりもさらに環境が悪化し、死滅菌数が増えて、生菌数の大幅な減少が起こる期間である。

**文献**: 微生物学 16-17  
 最新歯科衛生士教本 微生物学 24-25

- 13 **解答**: d  
 a × 血清療法で大量の抗体を投与すると、抗原抗体複合体が組織に沈着し、補体が活性化され、好中球が局所に集積して、リソソームの放出により組織破壊が起きることがある。これはIII型アレルギーである。
- b × 漆かぶれなどの接触性皮膚炎は細胞性免疫つまりIV型アレルギーである。
- c × ペニシリンショックなどの薬剤アレルギーは全身性アナフィラキシーであり、抗原-IgE複合体と結合した肥満細胞がヒスタミンを放出すると、平滑筋収縮および血管透過性亢進によるショック症状が起きる。これはI型アレルギーである。
- d ○ 不適合輸血による赤血球の溶解は、補体の活性化やナチュラルキラー細胞による細胞障害に基づき、II型アレルギーに分類される。

**文献**: 微生物学 72-78  
 最新歯科衛生士教本 微生物学 103-108

## 解答・解説

- 14 **解答**: a  
食細胞の機能の基本的理解を問う。  
a ○ リゾチームは食細胞中のリソソームの主要酵素として殺菌作用がある。  
b × ヒスタミンは炎症反応やアナフィラキシー反応を誘導する化学伝達物質であるが、殺菌作用はない。  
c × サイトカインは免疫機構の活性を調節するが、殺菌作用はない。  
d × インターフェロンはウイルス抑制作用と免疫機構活性化作用があるが、殺菌作用はない。

**文献**: 微生物学 45  
最新歯科衛生士教本 微生物学 77-79

- 15 **解答**: b  
生物学的半減期とは、血中薬物濃度が直線的に減少するときに、濃度が半分になるのにかかる時間である。薬物の特性を示すものの1つであり、生物学的半減期の長い薬物は長く体内にとどまっていることになるので、蓄積作用に注意する必要がある。  
a ×  
b ○ 薬物濃度 40 μg/mL が半分の 20 μg/mL になるまでにかかった時間は 30-10=20 分  
c ×  
d ×

**文献**: 薬理学 18  
最新歯科衛生士教本 薬理学 22

- 16 **解答**: a  
小児の薬用量を計算して表にしたものが、フォンハーナックの換算表である。この値のもとになっているアウグスベルガー式やその値が生理学的にどのようなパラメーターと関連しているかを確認しておく。  
a ○  
b ×  
c ×  
d ×

**文献**: 薬理学 27  
最新歯科衛生士教本 薬理学 27

## 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み

- 17 **解答**: a, b  
プラークは、歯の表面に付着する主として微生物からなる構造物である。プラーク内の細菌は多種であり、付着部位、厚さなどによって構成が異なる。形成初期のプラークでは、*Nocardia* や *Neisseria* などの微好気性菌の占める割合が多い。*Streptococcus* は成熟度に関係なく数の上では最も優勢である。  
a ○  
b ○  
c × プラーク形成の進行とともに増加する。  
d × プラーク形成の進行とともに増加する。

**文献**: 口腔衛生学・歯科衛生統計 34-35  
最新歯科衛生士教本 保健生態学 109-111

## 解答・解説

- 18 **解答**: b, d  
*P. gingivalis* は代表的な歯周病原性細菌の一種で、さまざまな病原因子が明らかにされている。  
a × 偏性嫌気性である。  
b ○ 病原因子の1つである。  
c × グラム陰性の桿菌である。  
d ○ コラゲナーゼなどを産生する。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 182

- 19 **解答**: a, c  
歯周疾患の指数は複数あるが、それぞれに独自のねらいと表現方法がある。  
a ○ CPI プロープを用いてポケットの深さを測定する。  
b × 歯肉の炎症の程度や歯周組織の破壊程度を評価する。  
c ○ アタッチメントロス (AL) の程度を評価する。  
d × 歯肉の炎症の広がりや程度と強さの程度を診査する。

**文献**: 口腔衛生学・歯科衛生統計 187-194  
最新歯科衛生士教本 保健情報統計学 48-49、52-53

- 20 **解答**: b, d  
CO は歯ではなく要観察歯であり、学校保健統計上もう歯数に含めない。したがって処置勧告の対象にはならない。  
a ×  
b ○ 正しい歯磨き方法を指導する。  
c × 間食の内容や摂り方の指導は重要であるが、禁止の必要はない。  
d ○

**文献**: 口腔衛生学・歯科衛生統計 128、148-149  
最新歯科衛生士教本 保健生態学 265-267

- 21 **解答**: d  
フッ化物応用によるう蝕予防方法は、局所応用と全身応用に分けられる。各々の応用法により用いるフッ化物が異なる。  
a × ①②は正しいが、食塩への添加はフッ化ナトリウムを用いる。  
b × ①②は正しいが、食塩への添加はフッ化ナトリウムを用いる。  
c × ①を洗口にした場合、②はフッ化ナトリウムが一般的である。  
d ○

**文献**: 口腔衛生学・歯科衛生統計 75-76、82-90  
最新歯科衛生士教本 保健生態学 161

- 22 **解答**: a, d  
1歳6か月児健康診査は市町村事業として母子保健法により規定されている。この時期は上顎乳前歯のう蝕罹患の急増期であるため、早期の適切な措置により、う蝕予防や進行阻止を行うことが効果的である。  
a ○ 不正咬合が要注意であることから母指吸引癖などの口腔習癖があることが疑われる。  
b ×  
c ×  
d ○ 上顎乳前歯部のう蝕は哺乳ピンの使用により起こりやすい。

**文献**: 口腔衛生学・歯科衛生統計 141-143  
最新歯科衛生士教本 保健生態学 247-248

## 解答・解説

- 23 **解答**: a  
 歯肉炎、歯周炎を含めた歯周疾患の有病率は加齢とともに増加し、だいたい10歳で40%、20歳で60~70%、30歳代になると80~90%を示し、成人ではほとんどの人が歯周疾患として何らかの症状をもつようになる。
- a ○  
 b × 歯周ポケット4~5mmは②である。  
 c × プロービング後の出血は④である。  
 d × 歯周ポケット6mm以上は①である。

**文献**: 口腔衛生学・歯科衛生統計 203  
 最新歯科衛生士教本 保健生態学 131-132

- 24 **解答**: a, d  
 学校保健では保健管理の一環として健康診断が実施されている。健康診断は、児童・生徒の健康、発育の状態、疾病の有無などを的確に把握し、児童・生徒の生活の変化に応じた健康の保持増進をはかることを目的としている。
- a ○ 未処置のう歯が2本と処置したう歯が3本で合計5本がう歯である。  
 b × 喪失歯の記号は△で、設問にはない。  
 c × 要注意乳歯の記号は×で、2本である。  
 d ○ 学校歯科医の所見にGOの記載がある。

**文献**: 口腔衛生学・歯科衛生統計 148-149  
 最新歯科衛生士教本 保健生態学 263-266

- 25 **解答**: b  
 LeavellとClarkは、疾病の自然史に応じた予防手段を提唱した。一次予防は疾病の発生前に行われる発病阻止対策や手段で、健康増進と特異的防御に分類される。
- a × 第一次予防における健康増進に分類される。  
 b ○ 第一次予防における特異的防御に分類される。  
 c × 第二次予防における早期発見・早期治療に分類される。  
 d × 第三次予防に分類される。

**文献**: 衛生学・公衆衛生学 11-13  
 最新歯科衛生士教本 保健生態学 5-7

- 26 **解答**: b  
 廃棄物は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）」により一般廃棄物と産業廃棄物に分類される。さらに特別な管理を要する廃棄物をそれぞれ特別管理産業廃棄物と特別管理一般廃棄物に分類している。
- a × 特別管理産業廃棄物以外の産業廃棄物である。  
 b ○ 特別管理産業廃棄物である。  
 c × 特別管理一般廃棄物である。  
 d × 特別管理産業廃棄物以外の産業廃棄物である。

**文献**: 衛生学・公衆衛生学 43-45  
 最新歯科衛生士教本 保健生態学 55-58

## 解答・解説

- 27 **解答**: c  
 コホート研究も患者対照研究も分析疫学に分類され、疾病の発生病因に関する仮説を立証することを目的としている。これらの研究方法には異なった特徴がある。
- a × コホート研究は一般に費用や労力がかかる。  
 b × 患者対照研究は一般に費用や労力がかからない。  
 c ○  
 d ×

**文献**: 衛生学・公衆衛生学 60-62  
 最新歯科衛生士教本 保健生態学 13-16

- 28 **解答**: c  
 健康増進法は健康日本21を中核とする国民の健康づくりや疾病予防をさらに積極的に推進するため、2003（平成15）年に施行された。生活習慣病のリスクを減らし、健康寿命を延伸することを目指している。
- a ×  
 b ×  
 c ○  
 d ×

**文献**: 衛生学・公衆衛生学 9-10  
 最新歯科衛生士教本 保健生態学 234-238

- 29 **解答**: d  
 a × 厚生労働大臣の免許を受ける。  
 b × 歯科医師の直接の指示による。  
 c × 遊離縁下である。  
 d ○

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科衛生士と法律・制度 第2版 6

- 30 **解答**: b  
 疫学研究は記述疫学、分析疫学と介入研究に分類される。記述疫学では疾病の分布上の特徴が明確にされ、病因に対する仮説が設定される。分析疫学では設定された病因と疾病との関連性が調べられる。分析疫学は時間的経過により、横断研究と縦断研究に、後者はさらに疾病の有無でみるか、病因因子の曝露の有無でみるかにより患者対照研究とコホート研究に分類される。介入研究（疫学）は疑われる要因を人為的に集団に与えたり、除いたりして疾病の発生病況を観察する。
- a ×  
 b ○ 食中毒症状のある患者とない者を対象に調査する。  
 c ×  
 d ×

**文献**: 衛生学・公衆衛生学 60-62  
 最新歯科衛生士教本 保健生態学 10-16

## 解答・解説

- 31 **解答**: d  
 近年における乳児死亡の原因としては、「先天奇形、変形および染色体異常」が最も多い。平成 23 年の統計をみると、全乳児死亡に占める「先天奇形、変形および染色体異常」の割合は 35.1%であった。肺炎は 1.5%、不慮の事故は 4.9%、乳幼児突然死症候群は 5.7%であった。  
 a × 平成 23 年は 10 位であった。  
 b × 平成 23 年は 4 位であった。  
 c × 平成 23 年は 3 位であった。  
 d ○

**文献**: 衛生学・公衆衛生学 113-115  
 最新歯科衛生士教本 保健生態学 29  
 国民衛生の動向 2011/2012 (厚生統計協会) 65-66

- 32 **解答**: a, d  
 「高齢者の医療の確保に関する法律」(高齢者医療法)は、国民の高齢期における適切な医療の確保をはかることを目的として「老人保健法」(昭和 57 年 8 月 17 日法律第 80 号)を、平成 18 年 6 月 21 日法律第 83 号をもって、平成 20 年 4 月 1 日から改正(改題)施行された後期高齢者医療制度を定めている。  
 a ○  
 b × 障害者自立支援法に定められている。  
 c × 介護保険法に定められている。  
 d ○

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科衛生士と法律・制度 第 2 版 95-96、98-101

- 33 **解答**: b, d  
 a × キシリトールは高圧下でキシロースに水素を添加してつくった糖アルコールである。  
 b ○ パラチノースはショ糖に転移酵素を作用させてつくったショ糖の異性体である。  
 c × スクラロースはショ糖に塩素を結合させたものである。  
 d ○ アスパルテームはアミノ酸であるフェニルアラニンとアスパラギン酸よりなるペプチドである。

**文献**: 栄養指導・生化学 102-104  
 最新歯科衛生士教本 栄養と代謝 102-104  
 ポイントチェック② 第 4 版 124

- 34 **解答**: d  
 アミノ酸スコアは「望ましい必須アミノ酸量(アミノ酸パターン)」に対する比率を数値化したもので、その値が高いほどタンパク質の栄養価は高い。  
 a × 鶏卵のアミノ酸スコアは 100 である。  
 b × 精白米のアミノ酸スコアは 61 である。  
 c × ほうれん草のアミノ酸スコアは 64 である。  
 d ○ コラーゲンが熱変性するとゼラチンになる。ゼラチンのアミノ酸スコアは 0 である。

**文献**: 栄養指導・生化学 55-56  
 最新歯科衛生士教本 栄養と代謝 146-147

## 解答・解説

## 歯科衛生士概論

- 35 **解答**: a  
 歯科衛生士の業務は、歯科衛生士法に規定されている。  
 a ○ 歯科保健指導は、歯科医衛生士以外の者でも行うことができるため歯科衛生士の名称独占である。  
 b × 予防的薬物塗布は歯科衛生士の業務独占である。  
 c × 予防的歯石除去は歯科衛生士の業務独占である。  
 d × 歯科診療の補助は歯科衛生士の業務独占である。

**文献**: 歯科衛生士概論 1-3  
 最新歯科衛生士教本 歯科衛生学総論 42-47

## 臨床歯科医学

- 36 **解答**: a, d  
 a ○  
 b × 粒子放射線である。  
 c × 粒子放射線である。  
 d ○

**文献**: 歯科放射線学 9-10  
 最新歯科衛生士教本 歯科放射線 8-9  
 ポイントチェック③ 第 4 版 11

- 37 **解答**: b, c  
 図の窩洞は、切歯の隣接面にあり切縁隅角を含まないので、Black の III 級窩洞である。  
 a × IV 級は切歯、犬歯の隣接面における窩洞で切縁隅角を含むものである。  
 b ○ 歯の長軸に平行で、歯の外周から歯髄に近づく壁なので軸壁である。  
 c ○ 2 壁の接合部に生じる内角または外角を線角という。4 つの窩壁があるため、2 壁が接する接合部は 6 つになる。  
 d × 唇側壁、舌側壁、軸壁、歯肉壁の 4 つの窩壁がある。

**文献**: 保存修復学・歯内療法学 30-35  
 最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 21-23  
 ポイントチェック③ 第 4 版 43-44

- 38 **解答**: c, d  
 ラミネートベニア修復は、顔面の変色、欠損、形態異常あるいは前歯の位置異常などを審美的に補正する目的で、エナメル質の薄層を削去して審美的材料で被覆する方法である。禁忌症としては、切端咬合やブラキシズム(歯ぎしり)など過度の咬合圧のかかる歯、う蝕罹患率の高い口腔環境、歯周炎を有する場合などがある。  
 a × 適応症としてう蝕症、侵蝕症なども含まれる。  
 b × 形態異常である矮小歯や円錐歯は適応症である。  
 c ○  
 d ○ ブラキシズムには、グラインディング(歯を無意識にこすり合わせる)、クレンチング(くいしばり)、タッピング(歯をカチカチかみ合わせる)がある。

**文献**: 保存修復学・歯内療法学 102  
 最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 73  
 ポイントチェック③ 第 4 版 57

## 解答・解説

- 39 **解答**: b, c  
 中切歯の隣接面う蝕は、成形修復材料であるコンポジットレジン修復やガラスイオノマーセメント修復の適応症である。  
 a × 中切歯の隣接面における窩洞はⅢ級である。  
 b ○ う蝕の大きさやう蝕象牙質の着色程度から、う蝕症第2度であることがわかる。  
 c ○ 歯間分離効果を直ちに得るためには、即時歯間分離法としてセパレーターやウェッジを用いる。  
 d × 隔壁としてⅢ級窩洞はフィルム状ストリップス、Ⅳ級窩洞はコーナーマトリックスやクラウンフォームを使用する。

**文献**: 保存修復学・歯内療法学 28-29、78-87  
 最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 85-88  
 ポイントチェック③ 第4版 52-53

- 40 **解答**: c, d  
 急性化膿性根尖性歯周炎は咬合痛、打診痛からはじまり、歯肉や顔面の腫脹を伴い、発熱、倦怠感など全身症状を惹起する重篤な症状にまで進展する。根尖歯周組織の炎症であるので温度や化学的刺激には反応しない。  
 a × 冷水痛は歯髄組織に起因する症状である。  
 b × 甘味、酸味に対する痛みは初期の歯髄疾患の症状である。  
 c ○ 歯肉腫脹は本疾患の骨内期、骨膜下期、粘膜下期の症状である。  
 d ○ 体温上昇は本疾患の骨内期に現れる症状である。

**文献**: 保存修復学・歯内療法学 153-154  
 最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 121-122

- 41 **解答**: c  
 根管治療にはいろいろな器具が用いられるが、それぞれの用途を理解しておく必要がある。写真は根管スプレッダーである。  
 a × 根管清掃には、超音波洗浄などの機械的洗浄と次亜塩素酸ナトリウムなどを用いる化学的洗浄がある。  
 b × 根管拡大形成には、リーマー、ファイルを用いる。  
 c ○  
 d × 垂直加圧根管充填には根管プラグを用いる。

**文献**: 保存修復学・歯内療法学 213-217、243-246  
 最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 166-167

- 42 **解答**: a, b  
 歯周疾患の原因因子について理解する。  
 a ○ 喫煙はプラークなど病原因子の影響を増悪させる全身性の修飾因子である。  
 b ○ う蝕はプラークの蓄積量を増加させる局所性の修飾因子である。  
 c × 糖尿病は全身性の修飾因子である。  
 d × プラークは歯周疾患の局所性初発因子である。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯周治療 17-37

- 43 **解答**: b, d  
 歯肉の病変の形態や、それを診査する指数について理解する。  
 a × 小帯は高位に付着していない。  
 b ○  
 c × 発赤、腫脹などの明らかな炎症が認められるので、少なくとも2以上である。  
 d ○ プラークが多量に視認できるので3である。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯周治療 48-65

## 解答・解説

- 44 **解答**: d  
 a × 動揺度の検査は通常、ピンセットで行う。  
 b × 歯槽硬線はエックス線写真検査で認められるものであり、プローブで測定できない。  
 c × プローブは咬合検査では使用しない。  
 d ○ 付着歯肉の幅は歯肉歯槽粘膜境からポケット（あるいは歯肉溝）底部までの距離をいう。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯周治療 118-125

- 45 **解答**: a  
 グループファンクション（ドオクルージョン）は側方運動時に作業側の複数歯の接触が観察され、平衡側の咬合面は離開して接触していない。前方運動時には前歯部のみ接触している。  
 a ○  
 b × リンガライズドオクルージョンは義歯における咬合様式で、天然歯では認められない。  
 c × 側方運動時に平衡側の接触もある咬合様式である。  
 d × 側方運動時に作業側の犬歯のみの接触がある咬合様式である。

**文献**: 歯科補綴学 35-37  
 最新歯科衛生士教本 歯科補綴 18-20  
 ポイントチェック③ 第4版 127-128

- 46 **解答**: c  
 写真はフェイスボウトランスファーで、上顎模型を咬合器に付着する際に使用する。これは、顎関節と上顎との位置を咬合器上で再現することを目的とする。  
 a × 上下顎の咬合関係は、ワックス、ポリエーテル系ラバーや石膏による咬合採得によって記録される。  
 b × 水平的な下顎位の決定は、ゴシックアーチ描記法などによって記録される。  
 c ○ 顎関節と上顎との関係は、フェイスボウトランスファーによって記録される。  
 d × 垂直的な下顎位の決定は、下顎安静位や顔面計測、タッピング法などによって記録される。

**文献**: 歯科補綴学 152  
 最新歯科衛生士教本 歯科補綴 71-72

- 47 **解答**: b, d  
 写真は半固定性ブリッジである。  
 a × 支台装置は支台歯にセメント合着されるため着脱はできない。  
 b ○ 一方の連結部を可動性とすることで、個々の支台歯がある程度、生理的運動を営むことができる。  
 c × 多数歯にわたるブリッジの分割をはかる場合に応用できる。  
 d ○ 支台歯の傾斜が強くと支台歯形成で平行性を得られない場合に適用される。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科補綴 51-52  
 ポイントチェック③ 第4版 146-147

## 解答・解説

48 解答: a、b

口腔粘膜の角化性病変は、白斑を形成し長い経過をたどるが、非角化性病変による白斑は、偽膜を形成し比較的短い経過である。偽膜はガーゼ等で拭いさることができ、角化性病変は拭いさることはできない。

- a ○ 白斑は周囲の健康粘膜よりもわずかに盛り上がった境界明瞭な白色病変としてみられることが多く、上皮にはさまざまな程度の角化の亢進がみられる。扁平上皮癌の白斑型との鑑別が必要である。
- b ○ 扁平苔癬は皮膚や口腔粘膜に発現する炎症性角化症で、細いレース状、網状の角化部と、それに囲まれた紅斑あるいはびらんからなる。
- c × カンジダ症はカンジダ・アルビカンスの感染による真菌症である。乳白色の斑状の偽膜を形成し、ガーゼやミラーの縁で容易に除去できる。
- d × 再発性アフタは類円形の小潰瘍で上皮の角化はみられない。

文献: 口腔外科学・歯科麻酔学 40-49  
最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 55-61

49 解答: a、d

唾液が唾液腺とその導管の障害によって貯留してできた嚢胞が粘液嚢胞である。その中で舌尖近くの舌下面に発生したものを、ラングアンヌン嚢胞という。

- a ○
- b × 濾胞性嚢胞は埋伏歯を伴い、歯の発生過程のエナメル器が嚢胞化し発生する嚢胞である。
- c × 鼻口蓋管嚢胞は胎生期の各突起部の癒合部に上皮が迷入残存して形成された顔裂性嚢胞の1つで、上顎口蓋正中部の鼻口蓋管上皮由来の嚢胞である。
- d ○

文献: 口腔外科学・歯科麻酔学 67  
最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 94  
ポイントチェック④ 第4版 10

50 解答: a

舌の潰瘍性病変に関する問題である。設問より境界不明瞭で周囲に硬結を伴う易出血性の潰瘍とあることより舌癌の可能性が高いことがわかる。口腔内写真では辺縁が隆起した潰瘍であるが、深部へ浸潤すると陥没した深い潰瘍を形成することもしばしばみられる。舌癌は口腔癌全体の約50%を占め、組織型はほとんどが扁平上皮癌である。拡大すると舌の運動障害が生じ、構音障害、摂食障害が起こる。白斑症などの前癌病変との鑑別診断が必要であるが、最終的には病理組織診断で確定となる。病理組織写真では、中央部に高分化型扁平上皮癌特有の癌真珠(角質球)が認められることから確定診断は、舌癌(扁平上皮癌)となる。

- a ○
- b ×
- c ×
- d ×

文献: 口腔外科学・歯科麻酔学 74-75  
最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 105

## 解答・解説

51 解答: a、c

写真はベル症状を示す。ベル症状は顔面神経麻痺の主要な症状で、表情筋の麻痺により患側の眼瞼を閉じられず、無理に閉じようとすると眼球が上方に回転し、白眼を呈する状態をいう。末梢性顔面神経麻痺(別名:ベル麻痺)のその他の症状としては、口笛不能、鼻唇溝消失、口角下垂、麻痺性兔眼、流涎、涙腺・唾液腺の分泌障害、味覚異常、聴覚異常などがあり、神経の障害部位により異なった症状が現れる。原因としては、寒冷、ウイルス、外傷、腫瘍などが考えられる。通常開口障害や疼痛は出現しない。治療としては、一般的にビタミンB<sub>12</sub>製剤やステロイドホルモンの投与、星状神経節ブロックが用いられている。

- a ○
- b ×
- c ○
- d ×

文献: 口腔外科学・歯科麻酔学 84-85  
最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 127-128

52 解答: d

- a ×
- b ×
- c ×
- d ○ 上顎第一臼歯に対し下顎第一大臼歯が半咬頭以上近心にある。下顎近心咬合。

文献: 歯科矯正学 33-34  
最新歯科衛生士教本 歯科矯正 32-33  
ポイントチェック④ 第4版 52

53 解答: b

側面頭部エックス線写真トレースの分析に関する問題である。ANB角は上下顎骨の前後的位置関係の計測項目である。A点、B点、N点の位置についての知識が問題を解くうえで必要である。

- a × ANB角の計測値はマイナスであるが、 $-120^\circ$ とは考えられない。
- b ○
- c × B点がA点より前方に位置しているので、ANB角の計測値はマイナスになる。
- d × 明らかに $+45^\circ$ ではない。

文献: 歯科矯正学 70-75  
最新歯科衛生士教本 歯科矯正 48-50  
ポイントチェック④ 第4版 59

54 解答: a、c

- a ○ 上下顎間関係の改善を行った後、そのまま保定装置として用いることがある。
- b × 歯列弓内で歯の位置を保つことはできるが、上下顎咬合関係を保つことはできない。
- c ○ 上下顎間関係を保定することが可能である。
- d × 下顎前歯の保定に用いるが、上下顎咬合関係の保定はできない。

文献: 歯科矯正学 103  
最新歯科衛生士教本 歯科矯正 70、78  
ポイントチェック④ 第4版 69-71

## 解答・解説

- 55 **解答**: a  
Scammon の臓器発育曲線は各臓器組織を 4 型にわけ、各組織が 20 歳で 100% なるとした場合、出生時からの経時的推移を明示したものである。
- a ○ 一般系型ではシグモイド状 (S 字状曲線) の成長発育を示す。
  - b × 生殖系型は 12 歳以降の思春期に著しい成長発育を示す。
  - c × 神経系型は 5 歳時には成人の約 80% の成長発育を示す。
  - d × リンパ系型は 10~12 歳の間に最も旺盛な成長発育を示す。

**文献**: 小児歯科学 15-16  
最新歯科衛生士教本 小児歯科 10-11

- 56 **解答**: c  
本例は舌小帯の異常である。小帯の異常には上唇小帯、舌小帯、頬小帯の異常がある。それぞれの特徴および為害作用についてまとめておく。
- a × 開口障害はみられない。
  - b × 正中離閉の原因となるのは上唇小帯の異常 (高位付着、肥厚など) である。
  - c ○ 舌小帯短縮症では発音障害がみられる場合がある。
  - d × 歯の萌出を障害することがあるのは頬小帯の異常である。

**文献**: 小児歯科学 71-72  
最新歯科衛生士教本 小児歯科 55

- 57 **解答**: a  
小児の発達時期とそれぞれの時期特有の口腔症状および口腔疾患についてまとめて覚えておく。
- a ○ 上皮真珠は乳歯萌出前 (I A 期) の歯肉や歯槽堤部にみられる黄白色の半球状の小腫瘍である。
  - b × 通常 4~6 か月までは母親からの免疫で麻疹には罹患せず、9 か月頃でも防御作用が持続しているため罹患は少ない。コプリック斑は麻疹の前駆症状として頬粘膜にみられる。
  - c × 歯齡 I A 期は無歯期であり、上顎前歯部の外傷は少ない。
  - d × アグリーダックリングステージ (みにくいあひるの子の時代) は歯齡 II C~III A 期にみられる上顎正中離閉のことであり、上顎切歯萌出過程の正常な現象である。

**文献**: 小児歯科学 44、67、69、168-170  
最新歯科衛生士教本 小児歯科 37、60-61

- 58 **解答**: b、c  
乳歯う蝕の特徴を理解する。
- a × 永久歯に比べ自覚症状が不明確であり、低年齢児では症状を明確に伝えることもできない。
  - b ○ 乳歯う蝕では第二象牙質の形成が早く、量も多い。
  - c ○
  - d × 新産線は出生前後の環境変化による石灰化不良層であるがう蝕の原因とはならない。

**文献**: 小児歯科学 59  
最新歯科衛生士教本 小児歯科 46-49

- 59 **解答**: c  
認知症を伴う要介護者への口腔ケアプログラムに関する出題。日常の口腔衛生の確保を最優先とし、週 1 回の関わりを有効活用するプランニング・スキルを課題にしている。
- a × 写真から口腔衛生の問題がみてとれるので、口腔機能向上とは別な対応が必要である。
  - b × 重度の認知症患者の場合、本人への指導よりも介入方法を検討するほうが重要である。
  - c ○ 日常の口腔衛生の確保を最優先する必要がある。介護施設では介護福祉士 (ケアワーカー) との連携が重要になる。
  - d × 介護施設の中で、日常の口腔衛生を確保しなくてはならない。通院は有効な手段ではない。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 113-115

## 解答・解説

- 60 **解答**: a  
高齢者を取り巻く社会的背景を問う問題で人口統計学用語を理解する。
- a ○ (65 歳以上人口/総人口) × 100 で求められる。
  - b × (65 歳以上人口/0~14 歳人口) × 100 で求められる。
  - c × [(0~14 歳人口+65 歳以上人口)/生産年齢人口] × 100 で求められる。
  - d × (0~14 歳人口/生産年齢人口) × 100 で求められる。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 1、2、6

- 61 **解答**: c  
精神発達遅滞や脳性麻痺をはじめとして、障害者は抗てんかん薬の服用者が多い。抗てんかん薬のうちフェニトイン服用者の多くに歯肉増殖が認められ、歯科的にきわめて重要である。
- a ×
  - b × 向精神薬の副作用に唾液分泌量の減少による口腔乾燥を生じやすい。
  - c ○
  - d ×

**文献**: 最新歯科衛生士教本 障害者歯科 67

- 62 **解答**: c  
摂食・嚥下障害はその原因によって形態異常、神経 (中枢を含む)・筋系の障害、過労による機能減退の 3 種類に大別できる。先天的な形態異常による摂食・嚥下障害は唇顎口蓋裂や、その他の先天性疾患による顎変形異常があげられる。神経 (中枢を含む)・筋系の障害による摂食・嚥下障害は、発達障害として、脳性麻痺、精神遅滞、中途障害として、脳血管障害、認知症、脳外傷、脊髄損傷などがあげられる。
- a ×
  - b ×
  - c ○
  - d ×

**文献**: 最新歯科衛生士教本 障害者歯科 81

- 63 **解答**: a、b  
a ○ 反復唾液嚥下テストで、30 秒間で唾液を何回嚥下できるか調べる。  
b ○ 改訂水飲みテストで、3 mL の水を嚥下してもらい評価するテストである。  
c × エックス線を使用するためスクリーニング検査には適していない。  
d × スクリーニング検査には適していない。

**文献**: ポイントチェック④ 第 4 版 124

## 歯科予防処置論

- 64 **解答**: c、d  
a × 水流式清掃用具は口腔清掃器具で、食物残渣の除去はできるが、プラークは除去できない。  
b × 歯間隣接面やブリッジのポンティック部など歯ブラシの到達しにくい部位は、デンタルフロスや歯間ブラシなどの補助用具を使用して除去する。なお、含嗽では除去できない。  
c ○ プラークは歯肉に炎症を起こす最大の因子であり、歯肉縁線を境にして歯肉縁上の歯面について歯肉縁上プラークと歯肉溝やポケット内の歯肉縁下プラークに分けられる。  
d ○ プラークは歯に付着している微生物とその産生物からなっており、透明か黄白色の有機性の歯の付着物である。

**文献**: 歯科予防処置 21  
歯科保健指導 104  
最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 23-24

## 解答・解説

- 65 解答：c、d
- a × 色は灰白色か黄白色であるが、タバコやコーヒーなどの外来性物質で黒色や黒褐色を呈しているものもある。
- b × 歯面への沈着が少量の場合は肉眼でみえにくいことがあり、その際はスリーウェイシリンジのエアで乾燥させると肉眼でみえるようになる。
- c ○ 歯面への付着力が比較的弱いので、スケーラーで容易に除去できる。
- d ○ 歯肉縁上歯石が形成されやすい部位は、基本的に唾液腺の開口部に近い下顎前歯部舌側面と上顎第一大臼歯頰側面である。

文献：歯科予防処置 22-23

最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 24-25

- 66 解答：c、d
- エックス線写真からは、歯根の形態、隣接面に付着した歯石、歯槽骨の状態などを観察することができる。
- a × う蝕は観察されない。
- b × エックス線写真ではプラークを観察することはできない。
- c ○ 第一大臼歯に根分岐部病変が観察される。
- d ○ 第二小臼歯、第一大臼歯の歯槽骨に水平性吸収が観察される。

文献：歯科予防処置 27-28

最新歯科衛生士教本 歯周治療 22、55、62-64

- 67 解答：d
- スケーリングは、視血処置の範囲に該当するため、術後の器材の取り扱いには感染予防に対する細心の注意が必要である。スタンダードプレコーション（標準予防策）の考えに基づき、適切な方法を選択する。
- a × 手用スケーラーは洗浄した後、オートクレーブなどを用いて滅菌処置を行う。
- b × ウォッシャー・ディスインフェクターは、微温湯を強力な水流で噴射し洗浄後、温湯・熱湯ですすぐことで微生物の除去が期待できるが、消毒レベルである。その後、滅菌処置が必要である。
- c × 超音波スケーラーのハンドピースは、付着物をアルコール類で清拭後、滅菌の処置が必要である。
- d ○

文献：歯科予防処置 117-118

最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 17-25

- 68 解答：c、d
- プロービングによって得られる情報は、出血の有無、歯周ポケットの深さ、歯根面の粗造感、根分岐部病変の進行、付着歯肉幅、アタッチメントレベルなどである。一般診査による情報とあわせて、患者の経年的な変化の評価に使用する。
- a × 動揺度は歯周組織の量や外傷力の指標となる。診査はピンセットで歯に加圧することによって調べる。
- b × 外傷性咬合が働くと歯周組織は咬合性外傷を受ける。エックス線写真を観察し、歯根膜腔の拡大、歯槽硬線の消失、垂直性の骨吸収などから判断する。
- c ○ 歯根面の形態や凹凸を触知する。
- d ○ セメント-エナメル境からポケット底部までの距離を測定する。プロービング時に測定することができる。

文献：歯科予防処置 122-125

最新歯科衛生士教本 歯周治療 48-65

ポイントチェック⑥ 第4版 6-7

## 解答・解説

- 69 解答：c
- 通常の測定時はプローブをできる限り歯面と平行に保ち、斜めに傾けたり、先端を歯面から浮き上がらせたりしないようにするが、隣接面の接触点直下をプロービングする際は、例外的にプローブをやや傾けて測定する。
- a ×
- b ×
- c ○
- d ×

文献：最新歯科衛生士教本 歯周治療 121

ポイントチェック⑥ 第4版 6

- 70 解答：a、d
- 下顎前歯部舌側に多量の歯肉縁上歯石の付着が観察される。まず、超音波スケーラーにて除去し、取り残した隣接面などの細かい歯石をシクルタイプスケーラーで除去するとよい。
- a ○ 歯肉縁上の除石では15°が最適角度とされている。
- b × グレーシートタイプキュレットは主に歯肉縁下歯石や歯肉縁下プラークの除去を目的とする。
- c × 超音波スケーラーは40~80g程度のフェザータッチで使用する。
- d ○

文献：歯科予防処置 38-52、164-169

最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 139-140、161-167

- 71 解答：b、d
- a × 超音波スケーラーでの操作角度は約15°が最適角度である。
- b ○ ピエゾ方式（圧電効果）による振動は強力でコントロールも容易である。また、長時間の連続使用でも、強力で正確な振動を保持できる。
- c × 超音波スケーラーでの除石圧は40~80gであり、手用スケーラー使用時550~950gの約1/10である。
- d ○ チップが隣接面に到達しにくい。そのため、隣接面や隅角部に残存歯石が多く認められる。

文献：歯科予防処置 160-168

最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 161-171

- 72 解答：d
- グレーシートタイプキュレットは、刃部内面が第1シャンクに対して70°の角度に傾斜している。第1シャンクはローワーシャンク、第2シャンクはアッパーシャンクともいう。
- a ×
- b ×
- c ×
- d ○

文献：最新歯科衛生士教本 歯周治療 137-140

## 解答・解説

73	<p><b>解答:</b> c, d</p> <p>歯石除去の仕上げとして行う歯面研磨の目的は、①スケーラーで傷ついた粗造な歯面を滑沢にして、歯石の再沈着を予防する、②残留している微細な歯石やプラーク、色素沈着を除去する、③患者に爽快感と審美感を与え、口腔衛生への認識をもたせる、などがある。</p> <p>a × b × c ○ d ○</p> <p><b>文献:</b> 歯科予防処置 139 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 174 ポイントチェック⑤ 第4版 22</p>
74	<p><b>解答:</b> a</p> <p>写真は RD test®の専用ディスクと付属のスポイトである。混合唾液をディスク中央に浸潤させ、透明シールでカバーしたものの上腕部内側に貼り 15 分間放置する。判定は標準比色法で行う。</p> <p>a ○ b × ハードレイテストがこれに該当する。 c × カリオスタット®がこれに該当する。 d × エナメルバイオプシーがこれに該当する。</p> <p><b>文献:</b> 歯科予防処置 218-219 最新歯科衛生士教本 保健生態学 142-144 ポイントチェック⑤ 第4版 27</p>
75	<p><b>解答:</b> c, d</p> <p>フッ化物応用は、その応用方法と使用フッ化物を適切に選択しなければならない。</p> <p>a × フッ化物洗口法には毎日法と週 1 回法があり、毎日法のフッ素濃度（フッ化物イオン濃度）は 225~450 ppm、週 1 回法は 900 ppm である。 b × 日本では薬事法によりフッ化物配合歯磨剤のフッ素濃度は 1,000 ppm 以下である。 c ○ 2% フッ化ナトリウム溶液のフッ素濃度は 9,000 ppm である。 d ○ リン酸酸性フッ化ナトリウム溶液には、Brudevold I 法と II 法がある。I 法のフッ素濃度は 12,300 ppm、II 法は 9,000 ppm である。</p> <p><b>文献:</b> 歯科予防処置 208-213 最新歯科衛生士教本 保健生態学 161 ポイントチェック⑤ 第4版 28-32</p>
76	<p><b>解答:</b> b, d</p> <p>2% フッ化ナトリウム溶液はフッ素濃度 0.9% のフッ化物溶液である。</p> <p>a × 2 週間に 4 回を 1 サイクルとし、年に 2 サイクル行う。 b ○ 2% フッ化ナトリウム溶液は、フッ化物歯面塗布法の綿球塗布法、トレー法、イオン導入法に用いられる。 c × 1 mL 中のフッ素量は 9 mg である。 d ○ 無味で、安定した溶液であるという利点があるが、欠点としては取り込みが少ないことである。</p> <p><b>文献:</b> 歯科予防処置 221-224 最新歯科衛生士教本 保健生態学 162-165 ポイントチェック⑤ 第4版 28-30</p>

## 解答・解説

77	<p><b>解答:</b> a, b</p> <p>歯面への停滞性がよいため、塗布状況が明瞭であるが、塗布後ゲルを拭う必要がある。</p> <p>a ○ b ○ c × d × ゲルは抵抗性の少ないほうに移動するため、隣接面に入り込みにくい。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 保健生態学 162-163 ポイントチェック⑤ 第4版 28</p>
78	<p><b>解答:</b> a, b</p> <p>a ○ 薬剤、薬液の管理には十分注意し、冷暗所に保管する。 b ○ 1 回の使用量は 5~10 mL で、30~60 秒間ブクブクうがいをする。 c × 1 日 1 回法では、0.05% フッ化ナトリウム溶液を使用する。よってフッ素濃度は 225 ppm である。 d × 0.05% フッ化ナトリウム溶液は、500 mL 容器中に約 110 mg のフッ化物が含まれている。</p> <p><b>文献:</b> 歯科予防処置 263-265 最新歯科衛生士教本 保健生態学 166-168 ポイントチェック⑤ 第4版 32</p>
79	<p><b>解答:</b> b</p> <p>小窩裂溝填塞法は、Bis-GMA 系とグラスアイオノマー系の 2 種が主に市販されている。重合型は、光重合型が多く、フッ化物イオンを徐放するものもある。術式はそれぞれのメーカーの指示に従うが、基本術式は、ラバーダム防湿、歯面清掃、酸処理・洗浄・乾燥、填塞、重合、咬合チェックである。</p> <p>a × b ○ c × d ×</p> <p><b>文献:</b> 歯科予防処置 238-240 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 200-205 ポイントチェック⑤ 第4版 35</p>
<b>歯科保健指導論</b>	
80	<p><b>解答:</b> a</p> <p>通常、医療面接における医療者と患者の位置とは、患者が緊張しないよう配慮した 90°の向きに座ることがよいとされている。患者が医療者との対面を避け視線を自由にそらせることができるので、心理的に安心が得られる位置として活用されている。</p> <p>a ○ b × 視線をそらすことができないため、緊張感があり話にくい。 c × 相手の距離が近すぎると不快感・圧迫感をともなう。 d × 距離が遠すぎると逆に話しくくなる可能性がある。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 心理学 168-170</p>

## 解答・解説

- 81 **解答**: a, d  
 口腔機能評価には、オーラルディアドコキネシス、頬膨らまし、反復唾液嚥下テスト (RSST)、頸部聴診、改訂水飲みテスト、咀嚼判定ガム、嚥下造影検査 (VF)、内視鏡検査などがある。  
 a○ 口唇の閉鎖、舌の後方を持ち上げ、軟口蓋を下方に保つ運動が正常であることを評価する。  
 b× 唾液を検体とし、ミュータンスレンサ球菌数により齧活動性を評価する。  
 c× 口臭の原因物質の固定や定量を測定する検査法。  
 d○ 発音時における、舌、口唇、軟口蓋などの運動の速度や巧緻性を評価する。

**文献**: 歯科衛生士のための 摂食・嚥下リハビリテーション 124-127  
 実践! 介護予防口腔機能向上マニュアル (東京都高齢者研究福祉振興財団) 42-48

- 82 **解答**: b  
 OHI-S の診査部位は  $\frac{6}{6} \frac{1}{1} \frac{6}{6}$  であり、この場合 1 の唇側を観察する。OHI-S (DI-S) の基準で点数化すると、この場合 1 点と評価する。  
 a× 0 点はプラークも外来性色素沈着も認めない状態である。  
 b○ プラークの付着範囲が歯面の 1/3 以内か、付着範囲に関係なくプラーク以外の外来性色素沈着を認める場合である。この写真では、付着は 1/3 以内なので 1 点である。  
 c× プラークの付着範囲が歯面の 1/3~2/3 に認められる場合が 2 点である。  
 d× プラークの付着範囲が 2/3 以上に認められる場合が 3 点である。

**文献**: 口腔衛生学・歯科衛生統計 194-196  
 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 103-104

- 83 **解答**: a  
 特定歯を対象とする方法では、前歯は上顎右側と下顎左側を検査し、臼歯は同一ブロックで対象歯が 2 歯以上ある場合は評価の高いほうをとる。また、対象者が 20 歳以下の場合、臼歯は第一大臼歯を検査するので注意が必要である。  
 コード 0: 所見なし  
 コード 1: プロービング時の出血  
 コード 2: 歯石の沈着  
 コード 3: 4~5 mm の歯周ポケット  
 コード 4: 6 mm 以上の歯周ポケット  
 a○  
 b× 上顎前歯は右側のみを評価する。  
 c× 下顎前歯は左側のみを評価する。  
 d× コード 4 が最大である。

**文献**: 歯科保健指導 120  
 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 108-109

- 84 **解答**: c  
 口腔清掃の自立度判定に歯と義歯の清掃状況も判定する。この女性の場合、毎食後洗面所で口腔清掃する習慣はあるが、写真のとおり、デンチャープラークの付着が多く、巧緻度の問題がある。義歯洗剤使用の指導や介護者による一部介助が必要である。  
 a× 巧緻度は b である。  
 b× 巧緻度は b、自発性は a である。  
 c○  
 d× 自発性は a である。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 88-89  
 ポイントチェック⑤ 第 4 版 98-99

## 解答・解説

- 85 **解答**: c, d  
 運動機能の発達や知的発達に遅れのみられる小児は、摂食・嚥下機能の獲得に遅れや異常がみられることが多い。摂食・嚥下機能で、生来備わっている能力は哺乳に関わる機能のみであり、ほかの機能は離乳期を通じて獲得する。  
 a× 捕食機能不全がある場合、こぼす、過開口、舌突出などがみられる。  
 b× 嚥下機能不全がある場合、むせ、逆嚥下、流涎などがみられる。  
 c○  
 d○

**文献**: 最新歯科衛生士教本 障害者歯科 80-81

- 86 **解答**: c, d  
 指導用顎模型は集団におけるブラッシング指導時によく用いられる。対象者に理解しやすい提示を行う必要がある。  
 a× 把柄部の後方が遠心になり、実際の口腔では使用できない。  
 b× 指導者の手首がじゃまになり、操作法がみえにくい。  
 c○ 基本的な提示法。  
 d○ 上顎を大きく開けて実施すると対象者も同じように上向きの姿勢をとってしまう。このように下顎を開けて対象者が鏡をみたときと同じような位置に顎模型を固定するとよい。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 216-219  
 ポイントチェック⑥ 第 4 版 87-92

- 87 **解答**: c, d  
 学校歯科健康教育については、2005 (平成 17) 年文部科学省から『「生きる力」をはぐくむ学校での歯・口の健康づくり』が発行された。学校で取り組むべき歯・口の健康づくりの課題が示されている。  
 a× 小学校中学年の課題である。  
 b× 小学校低学年の課題である。  
 c○  
 d○

**文献**: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 261-262

- 88 **解答**: a, b  
 間食の回数とう歯数は相関関係があり、間食の回数が増えるほど、う歯数は増加すると考えられる。不規則な甘味の摂取は保健行動として望ましくない。  
 a○  
 b○  
 c× 4 回以上の間食回数では 9.8 本を示しており、90% 以上の歯ではない。  
 d× グラフは間食の回数と乳歯のう歯数を示したものであり、砂糖の摂取量は表されていない。

**文献**: 歯科保健指導 44-45  
 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 261

- 89 **解答**: c  
 PII は歯肉辺縁に付着したプラーク量を指数化したものである。PII が 2.4 ということは肉眼でもプラークを確認できるほど清掃状態は不良であることを示唆している。また、口腔内写真からも歯肉炎や歯頸部う蝕の多発がみられることから、ブラッシング指導を優先に行うべきである。  
 a× ブラッシング指導後、セルフケアができない歯面を集中的に行うとよい。  
 b× 白濁部の再石灰化を促進するためにフッ化物は有効であるが、まずは口腔内の環境改善を考えるべきである。  
 c○  
 d× 顕著な歯石沈着はみられないので優先すべき対応ではない。

**文献**: 口腔衛生学・歯科衛生統計 197  
 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 107

## 解答・解説

- 90 **解答**: b, d  
顎関節症は顎関節あるいはその付近に疼痛、関節の雑音および異常顎運動があるものの、顎関節部に炎症や骨構造の異常が認められないような慢性疾患である。原因としては、慢性的力学的異常刺激（外力、過度の開口、硬固物の咀嚼、異常な顎運動、不適な修復物、咬合異常など）、咀嚼筋の異常緊張および精神的ストレスなどが考えられている。
- a × 女性に多い。
  - b ○
  - c × 構造上の異常は認められないような慢性疾患を顎関節症という。
  - d ○

**文献**: 歯科保健指導 24-25  
最新歯科衛生士教本 保健生態学 194-195

- 91 **解答**: a, b  
近年の日本人の摂取エネルギーに占めるタンパク質、脂肪、糖質の構成比をみると糖質エネルギー比率が低下傾向で、脂肪エネルギー比率が上昇傾向にある。ごはん等の穀類をしっかりとって、糖質のエネルギー比率を適正に維持する必要がある。また、食塩のとりすぎは高血圧、脳血管疾患等の生活習慣病の原因であり、食塩の摂取量は1日10g未満が望ましいとされている。
- a ○
  - b ○
  - c × 多様な食品を組み合わせようとの記載はあるが、「1日30食品」といった具体的な数値は記されていない。
  - d × 食生活指針は望ましい食生活についてのメッセージであり、特定の疾病名の記載はみられない。

**文献**: 栄養指導・生化学 149  
最新歯科衛生士教本 保健生態学 83-84

- 92 **解答**: d  
健康診査は、平成19年度までは老人保健法における市町村事業の基本健康診査と医療保険各法における一般健康診査によって実施されていたが、平成20年度からは高齢者の医療の確保に関する法律に基づき生活習慣病予防を目的に特定健康診査、特定保健指導が実施されている。
- a × 健康増進法には国民の健康の増進を総合的に進めるための基本的事項が定められている。
  - b × 老人保健法は高齢者の医療の確保に関する法律に改正された。
  - c × 労働安全衛生法は労働者の安全と健康を確保することを目的とした法律である。
  - d ○

**文献**: 最新歯科衛生士教本 口腔保健管理 105-108  
歯科衛生士のための衛生行政・社会福祉・社会保険 第7版 43

- 93 **解答**: a, d  
誤嚥とは、飲食物が誤って気管に入りこんでしまうことである。誤嚥性肺炎や窒息の危険、脱水や低栄養といった合併症等、重大な問題をもたらす原因となる可能性がある。
- a ○ 歯の喪失により咬合支持域および安定した顎位の喪失が引き起こされる。また嚥下時の舌運動への影響により誤嚥を生じやすくなる。
  - b × 咳嗽反射は、気管に入った異物を咳で排除しようとする反射であり、この反射が低下すると誤嚥が起こりやすい。
  - c × 唾液分泌量が減ると口腔粘膜の滑らかさがなくなり嚥下がスムーズにできなくなる。
  - d ○ 咀嚼筋の筋力低下により、咀嚼能力が低下し、食物を固形のまま無理に嚥下することになり、誤嚥を生じやすくなる。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 33-36

## 解答・解説

- 94 **解答**: a, c  
要介護認定を受け、要介護1~5に該当する者は介護給付におけるサービスを受けることができ、これには大きく分けて、居宅サービスと地域密着型サービスがある。また、要支援1, 2の認定を受けた者は介護予防サービスと介護予防支援を受けることができる。要支援、要介護の非該当者は、市町村が実施する地域支援事業を受けることができる。
- a ○ 介護給付における居宅サービスである。
  - b × 予防給付におけるサービスで、要支援1, 2の認定を受けた者に対するサービスである。
  - c ○ 介護給付における地域密着型サービスである。
  - d × 介護認定されていない者（要支援、要介護のおそれのある者）が受けるサービスである。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 9, 120

## 歯科診療補助論

- 95 **解答**: c, d  
インシデントとはヒヤリ・ハットのことであり、患者に障害を及ぼすことはなかったが、診療の現場でヒヤリとしたりハットした事例を示す。アクシデント（医療事故）とは、事の大小や過失の有無を問わず、医療従事者が予測しなかった悪い結果が患者に発生した事例を示す。
- a × 患者に発生したアクシデントである。
  - b × 患者に発生したアクシデントである。
  - c ○ 誤った薬剤を準備したが治療前に気がついた事例のため、インシデントである。
  - d ○ 違う患者を誘導したが治療開始前に気がついた事例のため、インシデントである。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 156-157

- 96 **解答**: a, c  
感染予防対策として、確実な滅菌、有効な消毒薬を使うことは医療従事者として重要なことである。
- a ○
  - b × グルコン酸クロロヘキシジンはグラム陰性菌、陽性菌に有効でウイルスに効果はない。
  - c ○
  - d × 次亜塩素酸ナトリウムは、消毒力の低下が早く、とくに有機物の存在でこの傾向は著しい。金属の腐食、皮膚刺激性があり、グラム陽性菌、陰性菌、ウイルスに効果がある。

**文献**: 歯科診療補助 118-120  
最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 20-23  
ポイントチェック⑤ 第4版 128

- 97 **解答**: c, d  
歯科用セメントの共通の取り扱いとしては、①粉末と液は上下に振り、均一な状態にしておく、②正確に計量し、使用後は直ちに容器を密栓する、③液を取り出すときは容器をまっすぐに保持し、ノズルから静かに滴下する、④粉末と液は操作直前に取り出すようにする、⑤練和途中で液を足してはいけない、⑥操作後、粉末が余った場合でも、湿気の混入を防ぐために容器内に戻さないようにする、⑦直射日光を避けた湿気のないところに保管する、などがあげられる。
- a × 接着性レジンセメントは、唾液に対して溶解せず、エナメル質、象牙質、金属、レジン、ポーセレンに対して優れた接着性を有するセメントである。
  - b × 練和時に発熱するので練和はなるべく厚く乾燥したガラス練板を使用して、反応熱を放熱させ、練和時間を長くし、粉-液比を大きくすることでセメントの強度を増すようにする。
  - c ○ カルボキシレートセメントの特徴は、リン酸亜鉛セメントと比較して歯髄刺激性が少なく、歯質と金属の両者に対して化学的な接着が期待されている。カルボキシル基とカルシウムが反応するため、象牙質よりもエナメル質により強く接着する。しかし、粘性が強いため練和中に気泡が生じやすく、硬化後のセメント物性を低下させることがあるので注意する。
  - d ○ レジン添加ガラスアイオノマーセメントは、溶液に親水性レジン成分を添加することで、従来のガラスアイオノマーセメントの弱点である唾液や水分による溶解性を改良し保持力の向上を期待したものである。

**文献**: 歯科材料の知識と取り扱い 180-181  
最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 106-118

## 解答・解説

- 98 **解答:** a, d  
 グラスアイオノマーセメントは、歯質との接着性がよく、歯髄刺激性が少なく、フッ素徐放性により抗う蝕性が期待できる。また、審美性、操作性にも優れている。
- a ○ 感水性があるため、唾液などに接触すると白濁することがあるので、修復直後にはパーニッシュを塗布し乾燥と感水の防止を行う。
- b × 機械的強度はコンポジットレジンよりも劣る。
- c × 歯髄刺激性は少ない。
- d ○

**文献:** 歯科材料の知識と取り扱い 62-67  
 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 129-132

- 99 **解答:** b  
 a ○  
 b × 窩洞形成時に使用する。試適、装着のときは各種フィニッシングバー、シリコーンポイントなどが必要である。
- c ○  
 d ○

**文献:** 歯科診療補助 148-149  
 ポイントチェック⑤ 第4版 162

- 100 **解答:** a  
 根管充填材の種類は、ポイント類ではガッタパーチャポイントやシルバーポイント、セメント類では酸化亜鉛ユージノール製剤、糊剤では水酸化カルシウム糊剤、ホルムアルデヒド糊剤、ヨードホルム糊剤がある。
- a × 亜ヒ酸糊剤は歯髄失活剤として用いられている。
- b ○  
 c ○  
 d ○

**文献:** 保存修復学・歯内療法学 212-213  
 最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 162-165  
 ポイントチェック⑤ 第4版 147

- 101 **解答:** d  
 写真の器具はクレーン-カプランポケットマーカである。ポケット底の位置を歯周の表面に印し、切開の目安となる位置を明記するために用いるものである。
- a × 歯肉ばさみで行う。
- b × 有鉤ピンセットで行う。
- c × キュレットスケーラなどで行う。
- d ○

**文献:** 歯科器械の知識と取り扱い 98  
 最新歯科衛生士教本 歯周治療 84

## 解答・解説

- 102 **解答:** b, d  
 義歯が装着された口腔内は不潔になりやすく、う蝕や歯周疾患に罹患しやすい。患者指導にあたっては義歯の取り扱いや清掃方法などを説明する必要がある。また、義歯により回復した良好な状態を長く維持するには術後管理がとくに重要である。
- a × 違和感があれば努力してもらい慣れるように指導する。
- b ○ 装着翌日あるいは数日後には必ず来院させ、義歯床辺縁の過長部や粘膜面の過圧部を調整する必要がある。
- c × 硬めの歯ブラシによる清掃によってレジンが摩耗してしまうこともあるため、流水下での義歯用ブラシによる軽い清掃を指導する。
- d ○

**文献:** 歯科補綴学 105-106、128-131  
 最新歯科衛生士教本 歯科補綴 181-190  
 ポイントチェック⑤ 第4版 160-162

- 103 **解答:** a  
 口腔外科領域において、抜歯術だけではなく、各小手術の術式および使用する器材を把握する。
- a × 切開・排膿はメスにて行う。
- b ○ 膿瘍腔内壊死組織の除去に使用する。
- c ○ 切開の際に生じる出血に備える。
- d ○ 膿瘍腔にドレーンを挿入するのに使用する。

**文献:** 口腔外科学・歯科麻酔学 139-141  
 歯科器械の知識と取り扱い 156-159  
 最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 138-139  
 ポイントチェック⑤ 第4版 167

- 104 **解答:** c, d  
 局所的止血剤として使用される薬剤は、①酸化セルロース、②ゼラチンスポンジ、③トロンピン、④フィブリン接着剤などがある。全身的止血剤には、①カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム、②トラネキサム酸、③ビタミンK製剤などが使用される。
- a × ヘパリンは血液凝固作用を抑制する。
- b × 血栓塞栓症の治療および予防に使用される抗凝固剤の1つである。ワルファリン服用者は出血性素因患者として止血対応に気をつけなければならない。
- c ○  
 d ○

**文献:** 口腔外科学・歯科麻酔学 154-155  
 最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 166-168

- 105 **解答:** d  
 写真は、ツイードアーチベンディングブライヤーで、アーチワイヤーを歯列弓に合わせ形成している。
- a × 帯環形成に用いる。前歯用・白歯用がある。
- b × アーチワイヤーの着脱、ワイヤーの結紮など、さまざまなワイヤー操作およびアタッチメントの保持に使用する。先端が細いのが特徴である。
- c × エッジワイズ装置のアーチワイヤーをブラケットに結紮する。
- d ○ エッジワイズ装置のアーチワイヤーなどの角線を屈曲する。

**文献:** 歯科器械の知識と取り扱い 136-143  
 最新歯科衛生士教本 歯科矯正 128-130

## 解答・解説

106 解答: a, d

歯科矯正における歯科衛生士の役割は、特殊な診療内容を十分理解したうえでの口腔管理、口腔習癖排除の指導、歯科矯正治療の補助などである。

- a○ 筋機能療法は、指しゃぶりや舌突出癖などの排除を行い、口腔機能の改善を行うものである。口腔習癖の除去は、患者教育の一環として歯科衛生士の役割である。
- b× 顎関節症が疑われる症例では、下顎運動の機能的検査を ME 機器や咬合器を用いて行うが、歯科衛生士はこれらの検査の補助をする。
- c× 歯科衛生士は、歯科医師が屈曲したアーチワイヤーの結紮および撤去を行う。
- d○ 矯正治療開始前の資料収集（検査）として、エックス線写真（パノラマ・頭部・顎関節）の撮影準備と補助を行う。さらに、頭部エックス線規格写真のトレース、分析を行い、診断の資料を作成することもある。

文献: 歯科矯正学 133-144  
最新歯科衛生士教本 歯科矯正 120-188

107 解答: b, d

乳歯既製金属冠は、乳白歯の修復法として高頻度に応用されている。ステンレススチール製やニッケルクロム製で完全に歯冠形態が付与されているものと、咬合面のみ形態付与されて軸面を形態調整するタイプがある。

- a× 矯正治療時、口腔内にアーチワイヤーを装着するための器具である。
- b○ 乳歯冠の咬合面を調整する器具である。
- c× 矯正治療のバンド装着時に使用する器具である。
- d○ 乳歯冠の辺縁を調整する器具である。

文献: 小児歯科学 145-146  
歯科器械の知識と取り扱い 173-174  
最新歯科衛生士教本 小児歯科 150-151

108 解答: c

患者の放射線被曝軽減の手段としては、①線質や濾過、焦点・皮膚間距離を適切に設定する、②適切な照射筒を用いて照射野を小さくする、③患者の遮蔽としての防護衣の着用や高感度フィルムを使用する、④適正な写真処理や撮影方向の認識、⑤再撮影をしない、⑥デジタル画像などの新技術の活用、⑦装置の定期検査を行い品質管理を行う、などがあげられる。

- a×
- b×
- c○
- d×

文献: 歯科放射線学 157  
最新歯科衛生士教本 歯科放射線 16-17  
ポイントチェック⑤ 第4版 176

109 解答: b

感染症は原因となる微生物の種類によって分類される。それらを理解しておくことは、临床上、滅菌・消毒の面からも医療従事者として必要である。

- a○
- b× カンジダ症は真菌感染症である。
- c○
- d○

文献: 臨床検査法 91-104  
最新歯科衛生士教本 保健生態学 59-62

## 解答・解説

110 解答: a, d

過換気症候群は精神的な誘因や身体的な誘因があり、心配性の人に多く、治療への不安を我慢しているうちに発現する。症状は、過度の呼吸により、血中  $\text{CO}_2$  が低下し、口唇、手、足の知覚異常、筋硬直が起こる。処置は、紙袋などを口や鼻にかぶせ呼吸を吸わせると同時に、患者の恐怖心や不安感を取り除き、ゆっくりと呼吸をさせる。

- a○
- b× 神経性ショック時の症状である。
- c× 神経性ショック時の症状である。
- d○

文献: 口腔外科学・歯科麻酔学 182-183  
最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 206  
ポイントチェック⑤ 第4版 182

## 人体（歯・口腔を含む）の構造と機能

- 111 解答：c、d  
象牙質の成長線には、エプネルの象牙層板、オーエン外形線、アンドレーゼン線、石灰化条がある。エプネルの象牙層板は基質線維の層状配列によって生じる細い線状構造といわれる。オーエン外形線は球間象牙質が層状に並んだものとされている。アンドレーゼン線は、脱灰標本でみられるヘマトキシリンに濃染する約 20 $\mu$ m 間隔の線条とされている。  
a × 球間網は、脱灰標本で象牙質にみられるヘマトキシリンに濃染する釣鐘を並べたような網目模様である。  
b × シュレーゲル条は、エナメル質に存在するエナメル小柱の横断帯と縦断帯が交互に配列した縞模様である。  
c ○  
d ○  
文献：解剖学・組織発生学・口腔解剖学 139-145  
最新歯科衛生士教本 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 229-230
- 112 解答：c  
口の周囲の表情筋は、口裂の上方にあるもの、側方にあるもの、下方にあるもの、および口輪筋などに分けられる。笑ったときに収縮する口裂の上方には、大・小頬骨筋、上唇挙筋、上唇鼻翼挙筋、口角挙筋がある。口裂の側方には、笑筋と頬筋がある。口裂の下方には、口角下制筋、下唇下制筋、オトガイ筋がある。矢印で示すのは大頬骨筋で、その下の小さな筋は笑筋である。  
a ×  
b ×  
c ○  
d ×  
文献：解剖学・組織発生学・口腔解剖学 198-201  
最新歯科衛生士教本 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 34-37
- 113 解答：c  
矢印は下顎骨下顎枝内面にある下顎孔を示す。ここを通る神経は下顎歯の知覚を支配する三叉神経第 3 枝である下顎神経の枝の下歯槽神経である。  
a × 舌神経は下歯槽神経とともに下顎神経の枝の 1 つであるが、舌の前部部の知覚を支配している。  
b × 舌下神経は三叉神経とは別の脳神経で、舌筋の運動を支配している。  
c ○  
d × オトガイ神経は下歯槽神経の枝がオトガイ孔から出た部分で、下顎部の皮膚の知覚を支配している。  
文献：解剖学・組織発生学・口腔解剖学 220-226  
最新歯科衛生士教本 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 60-61
- 114 解答：b、d  
脂肪酸は $\beta$ -酸化によってアセチル CoA となり、さらにアセチル CoA は糖質の代謝と同様にトリカルボン酸サイクルと電子伝達系を経て化学エネルギー（ATP）を産生する。  
a × 解糖とは嫌気的条件下でグルコースが乳酸になる代謝過程をいう。  
b ○  
c × 尿素サイクルとはアミノ酸から生じたアンモニアを尿素に代謝する過程をいう。  
d ○  
文献：栄養指導・生化学 174-176、181、189  
最新歯科衛生士教本 栄養と代謝 36-37

- 115 解答：c  
成熟エナメル質の 97% が無機質であり、その石灰化の進行はユニークである。すなわち、幼若エナメル質で形成されたエナメルタンパク質は石灰化が進行するに伴い、そのほとんどが分解され、消失する。そして、エナメル質の石灰化は骨や象牙質と異なり、2 ステップで進行する。  
a ×  
b ×  
c ○  
d ×  
文献：栄養指導・生化学 222-223  
最新歯科衛生士教本 栄養と代謝 66-70
- 116 解答：b  
甲状腺から分泌されるサイロキシンは物質代謝を亢進させる。  
a × 脳下垂体である。  
b ○ 甲状腺からはカルシトニンも分泌され、血中のカルシウム濃度を低下させる。  
c × 膵臓である。  
d × 精巣である。  
文献：生理学 85-86  
最新歯科衛生士教本 解剖学・組織発生学・生理学 227-231  
ポイントチェック① 第 4 版 47-48
- 117 解答：a  
口腔における体性感覚と特殊感覚について、ここではとくに舌を対象としている。体性感覚（温度覚、触・圧覚、痛覚）について、舌前方 2/3 は舌神経（三叉神経）、舌後方 1/3 は舌咽神経が伝える。一方、特殊感覚の 1 つである味覚情報については、舌前方 2/3 は鼓索神経（顔面神経）、舌後方 1/3 は舌咽神経が伝える。  
a ○ 舌後方 1/3 の体性感覚と味覚はともに、舌咽神経が伝える。  
b × 舌下神経は舌の運動をつかさどり、感覚神経は含まない。  
c × 舌前方 2/3 の味覚は、鼓索神経（顔面神経）が伝える。  
d × 舌前方 2/3 の痛覚は、舌神経（三叉神経）が伝える。  
文献：生理学 139-145  
最新歯科衛生士教本 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 75-79
- 118 解答：c  
図は心臓の壁を構成する心筋（固有心筋）の組織を示している。心筋細胞は骨格筋のように筋原線維をもち、横紋構造がある。しかし、骨格筋とは違って、筋細胞は枝分かれをし、また隣接細胞にはギャップ結合を通して興奮が伝わる。心筋の特徴を、骨格筋や平滑筋と比較して理解する。  
a × 心臓では弛縮が起こらない。心臓が弛縮すると血液循環が停止する。  
b × 心筋や平滑筋は疲労が起こりにくい。逆に、骨格筋は心筋や平滑筋と比較して疲労が起こりやすい。  
c ○ 骨格筋や神経と同様に活動電位を発生するが、その際、心筋細胞では  $\text{Na}^+$  に続いて  $\text{Ca}^{2+}$  も細胞内に流入する。このため、心筋細胞の活動電位は約 300 ミリ秒の持続の長い脱分極（プラトー）を示す。このプラトー期間中は心筋の興奮性が低下する不応期にある。  
d × 神経支配は自律神経系（不随意的）である。  
文献：生理学 37-45  
最新歯科衛生士教本 解剖学・組織発生学・生理学 63-64

## 疾病の成り立ち及び回復過程の促進

- 119 解答：b、c  
 失活歯の根尖に生じる嚢胞で、慢性肉芽性根尖性歯周炎の歯根肉芽腫に上皮の増生と嚢胞化が生じたものを歯根嚢胞という。  
 a × 歯根嚢胞は慢性の根尖性歯周炎である。  
 b ○ エックス線的には、境界明瞭な類円形透過像を呈する。  
 c ○ 異物巨細胞を伴うコレステリン結晶の析出や泡沫細胞の集簇がみられる。  
 d × 嚢胞壁の内面は、非角化重層扁平上皮で裏装されている。

文献：病理学 145  
 最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 90

- 120 解答：c  
 a × 圧迫萎縮は機械的な圧迫により局所の循環障害が起こった結果、栄養障害が生じて萎縮する。褥瘡は圧迫萎縮部が壊死したものである。  
 b × 生理的萎縮は老人性萎縮ともいい、加齢に伴って生じるもので、高齢者の心臓や胸腺、閉経後の卵巣や子宮にみられる。  
 c ○ 廃用性萎縮は長期間の無重力状態で宇宙飛行士の筋肉や骨にみられるような、運動低下に伴って生じるもので、顎骨では抜歯によって歯根膜が消失することで、咬合圧による骨組織への荷重が低下し歯槽骨が吸収する。  
 d × 栄養障害性萎縮は飢餓性萎縮ともいい、食事量の低下や消化器の障害により栄養が不足し、筋組織や脂肪組織などが萎縮する。

文献：病理学 17  
 ポイントチェック① 第4版 114-115

- 121 解答：b  
 歯周膿瘍などのように、口腔内にみられる炎症のほとんどは、滲出性炎に分類される化膿性炎で、好中球の著明な浸潤を特徴とする。化膿性炎は、好中球の浸潤が限局性で中心部が液化壊死した膿瘍、好中球がびまん性に広がった蜂窩織炎、腹腔や胸腔、副鼻腔などの体腔内に膿が貯留する蓄膿の3つに分けられる。膿瘍の排出口を瘻孔といい、膿汁には膿球とよばれる多量の好中球や、マクロファージ（大食細胞）が含まれている。  
 a × リンパ球で、小さな円形の核をもち細胞質が少ない。リンパ球のうち、Tリンパ球は細胞性免疫に、B細胞は形質細胞に分化して抗体を産生し体液性免疫に関与する。  
 b ○ 顆粒球の1つが好中球で、核が枝分かれした分葉核をもち、細胞内には、タンパク分解酵素を含む染色性のない多数の顆粒を入れている。  
 c × 形質細胞で、車輪に似た核（車輪核）と豊富な細胞質がみられる。体液性免疫に関与し、特異的な抗体（免疫グロブリン：IgA、IgD、IgE、IgM、IgG）を産生する。  
 d × 線維芽細胞で、紡錘形で長円形の核をもち、膠原線維（コラーゲン線維）を産生する。炎症時には毛細血管とともに増殖して肉芽組織をつくり炎症巣を修復する。

文献：病理学 55-56、142-145、151-153

- 122 解答：a、d  
 ペプチドグリカンとは、ペプチドが結合した多糖のことである。  
 a ○ 細胞質の高い内圧に抵抗し、菌体の形態を保つ働きがある。  
 b × 糖とペプチドから成るのでアルコール類には溶解しない。  
 c × グラム陰性菌の細胞壁にもあるが、陽性菌よりも薄くて架橋度も低い。  
 d ○ 主鎖の糖鎖をペプチドで架橋する際に必要な酵素が標的になる。

文献：微生物学 10、117  
 最新歯科衛生士教本 微生物学 18-19、146-147

- 123 解答：a、d  
 図は、グラム陰性菌の外膜と、その構成成分として表層に存在する内毒素（リポ多糖；LPS）を示している。  
 a ○ 内毒素は①の糖鎖部分と②の脂質（リピドA）部分で構成されるリポ多糖体（LPS）である。  
 b × 表層に脂質二重膜、つまり外膜をもつのはグラム陰性菌である。  
 c × タンパク質性の外毒素と異なり、リピドと糖鎖から成る内毒素は熱に対して安定である。  
 d ○ 外膜に埋め込まれたリピドA部分に炎症性サイトカインの産生を誘導する毒素活性がある。

文献：微生物学 36-37  
 最新歯科衛生士教本 微生物学 19

- 124 解答：d  
 薬物は有効血中濃度を超えると、有害作用を発現する危険性が増す。排泄の遅い薬物を反復投与していくと、次第に体内に蓄積し、一時に大量投与したような有害な反応が現れることがあり、これを蓄積作用という。図では、④のあと、薬物が有効血中濃度を超えている。  
 a × 薬物は有効血中濃度の範囲内で推移している。  
 b × 薬物は有効血中濃度の範囲内で推移している。  
 c × 薬物は有効血中濃度の範囲内で推移している。  
 d ○ 薬物は有効血中濃度の範囲を超えて推移しているため、有害作用を発現する危険性がある。

文献：病理学 18-22  
 最新歯科衛生士教本 病理学 22-23  
 ポイントチェック① 第4版 177-178

- 125 解答：b、d  
 口腔内用適用薬には、舌下錠やバツカル錠のように口腔粘膜から吸収させて全身作用を目的として用いられる薬剤もある。  
 a × 舌下錠は、口腔粘膜から直接すばやく吸収させることを目的として用いられる。狭心症発作時のニトログリセリン錠のように緊急を要する際に用いる。  
 b ○ トローチ剤は、口腔で徐々に溶解させて、口腔、咽頭などの局所における抗菌や消炎などを目的として用いられる。  
 c × バツカル錠は唾液に溶けて徐々に口腔粘膜から吸収させることを目的として用いられる。効果が持続的に現れるので、酵素製剤などが適している。  
 d ○ 歯科用コーン剤は、抜歯窩における二次感染の予防や止血などを目的として用いられる。

文献：病理学 173-174  
 最新歯科衛生士教本 病理学 85、171

- 126 解答：d  
 B型肝炎ウイルスにもエイズウイルスにも有効な消毒薬としては、グルタラルール、次亜塩素酸ナトリウムなどがある。消毒用エタノールやポビドンヨードはエイズウイルスには有効だがB型肝炎ウイルスには無効である。  
 a × ポビドンヨードはエイズウイルスには有効だが、B型肝炎ウイルスには無効である。  
 b × エタノールはエイズウイルスには有効だが、B型肝炎ウイルスには無効である。  
 c × ベンザルコニウム塩化物はウイルスには無効である。  
 d ○

文献：病理学 97-105  
 最新歯科衛生士教本 病理学 123-131  
 ポイントチェック① 第4版 170

## 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み

- 127 **解答**: c  
フッ化物歯面塗布法は、歯科医師や歯科衛生士など専門家が直接歯面にフッ化物溶液の塗布を実施する方法である。歯の表面からフッ化物（フッ素イオン）を作用させて歯質を強化しようとするものである。
- a × う蝕になりやすい小窩裂溝を封鎖することが目的である。
  - b × *S. mutans* 等がつくる不溶性グルカンやブラークの酸産生の基質となるショ糖の摂取を少なくすることが目的である。
  - c ○
  - d × 物理的なブラークコントロールの方法であり、手用歯ブラシによる口腔清掃の困難な場合にも有効である。

**文献**: 口腔衛生学・歯科衛生統計 75-76、84-85  
最新歯科衛生士教本 保健生態学 146-150

- 128 **解答**: a
- a ○ 実験的歯肉炎のプラークにみられる一方、いわゆる成人性歯周炎で多く検出されるスピロヘータである。
  - b × 歯周病で多く検出される嫌気性グラム陰性の短桿菌で悪臭を放ち、硫化水素が検出される。
  - c × 口臭の原因でもある紡錘状の細長いグラム陰性の桿菌である。
  - d × 若年性歯周炎で多く検出されるグラム陰性の短桿菌である。

**文献**: 口腔衛生学・歯科衛生統計 94-97  
最新歯科衛生士教本 保健生態学 181-182

- 129 **解答**: a、c
- a ○  $(28+56)/280 \times 100 = 30\%$
  - b × 一時点の結果では求められない。
  - c ○  $(28+56)/10 = 8.4$
  - d × C をもっている人数 (DMF 者数) が不明であるため求められない。

**文献**: 口腔衛生学・歯科衛生統計 184-185  
最新歯科衛生士教本 保健情報統計学 39-42

- 130 **解答**: a  
各種調査において、母集団から標本を抽出することを標本抽出という。標本抽出にあたっては、母集団から偏りが無いように抽出する必要がある。
- a ○ 各種の標本抽出法で一般的に用いられている。
  - b × 確率分布の1つで、t検定を行った際に用いられる。
  - c × 標本から得られた各種統計量（データ）である。
  - d × 確率分布の1つで、その曲線は左右対称でつりがね型を示す。

**文献**: 口腔衛生学・歯科衛生統計 205-216  
最新歯科衛生士教本 保健情報統計学 85-88

- 131 **解答**: b  
職業性疾患の原因は作業環境要因（物理的要因、化学的要因、生物学的要因）、作業要因および社会的要因に分類できる。口腔に症状が現れるものも多い。
- a × 流涎とは唾液の過剰分泌のことで、水銀や蒼鉛などが原因物質である。
  - b ○ 鉱物性や金属性粉塵によるじん肺が知られている。
  - c × 白ろう病は削岩機やチェーンソーなどによる局所振動が原因である。
  - d × 歯の酸蝕症は硫酸、亜硫酸、硝酸、塩酸などの酸を含むガスへの曝露によって生じる。

**文献**: 口腔衛生学・歯科衛生統計 156-162  
最新歯科衛生士教本 保健生態学 285-288

- 132 **解答**: b、c  
乳歯う蝕と永久歯う蝕では、特徴が異なる。
- a × 進行は速やかである。
  - b ○
  - c ○
  - d × 歯髄炎や歯根膜炎に移行しやすい。

**文献**: 口腔衛生学・歯科衛生統計 140  
最新歯科衛生士教本 小児歯科 46-49

- 133 **解答**: d  
経口摂取されたフッ素の多くは胃腸系から速やかに吸収され、尿中に排泄される。排泄されなかったフッ素の多くは骨格系に蓄積される。
- a × ②である。
  - b × ③である。
  - c × ④である。
  - d ○

**文献**: 口腔衛生学・歯科衛生統計 77-78  
最新歯科衛生士教本 保健生態学 154-156

- 134 **解答**: b  
社会保険に関する法的分類には①医療保険、②年金保険、③雇用保険、④労働者災害補償保険、⑤老人保健、⑥介護保険がある。
- a × 一般労働者の医療に関する法律である。
  - b ○ 船員保険は総合保険である。
  - c × 介護に関する法律である。
  - d × 国家公務員の医療・年金に関する法律である。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科衛生士と法律・制度 第2版 96-98

- 135 **解答**: b、d  
水道法における水質基準には、「健康に関連する項目（31項目）」と「水道水が有すべき性状に関する項目（20項目）」とがある。
- a × 消毒副生成物汚染の指標である。
  - b ○ し尿汚染の指標の1つである。
  - c × 工場排水等による汚染指標である。
  - d ○ し尿汚染の指標の1つである。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 42-45

## 解答・解説

- 136 **解答**: d  
介護保険は要介護状態になった高齢者等に、介護や機能訓練等の保健・医療・福祉にわたる介護サービスを本人の選択に基づき、総合的に利用できることを目的につくられた新しい社会保険制度である。
- a × 訪問看護とは訪問看護ステーションから、病気や障害をもった人が住み慣れた地域や家庭で、その人らしく療養生活を送れるように、看護師等が生活の場へ訪問し、看護ケアを提供し、自立への援助を促し、療養生活を支援するサービスである。
- b × 介護保険法において「要介護者又は要支援者であつて、居宅において介護を受けるものについて、その者の居宅において介護福祉士その他厚生労働省令で定める者により行われる入浴、排せつ、食事等の介護その他の日常生活上の世話であつて、厚生労働省令で定めるもの」と定義されている。
- c × 介護支援専門員（ケアマネジャー）が介護を必要としている者に応じた介護サービス計画（ケアプラン）を作成したり、介護認定の申請手続きや更新手続きの申請代行を行う。
- d ○ 要介護者の居宅に病院、診療所、薬局または訪問看護ステーションの医師、歯科医師、薬剤師、歯科衛生士、看護職（保健師、看護師、准看護師含む）または管理栄養士が訪問し、居宅における療養上の管理および指導を行う。
- 文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科衛生士と法律・制度 第2版 107-108

- 137 **解答**: b, d  
新興感染症はかつて知られなかった感染症で、1970年以降30以上の感染症が出現している。これに対して、一度は著しく減少したが近年再び増加している感染症を再興感染症という。
- a × 学校、病院や職域における集団発生や多剤耐性菌の出現が問題となっている再興感染症である。
- b ○ 1991年に米国で初めて報告され、その後世界的に流行が広がっている。
- c × 熱帯・亜熱帯地域で広く発生しており、抗マラリア薬の耐性原虫も出現している。我が国では輸入感染例が増加すると予想されている。
- d ○ 1976年にスーダンで初めて報告されたが、その後アフリカ諸国で年間数百人の報告がある。
- 文献**: 衛生学・公衆衛生学 67-81  
最新歯科衛生士教本 保健生態学 64-65

- 138 **解答**: c  
厚生労働省の患者調査によると、精神障害の入院患者では統合失調症が6割以上を占めている。
- a × 約4%である。
- b × 約7%である。
- c ○
- d × 約5%である。
- 文献**: 衛生学・公衆衛生学 172  
最新歯科衛生士教本 保健生態学 298

- 139 **解答**: b  
厚生労働省の患者調査（平成20年）によると、入院患者の95.7%が病院、4.3%が一般診療所であった。外来患者では25.2%が病院、55.8%が一般診療所、19.1%が歯科診療所であった。
- a ×
- b ○
- c ×
- d ×
- 文献**: 歯科衛生士のための衛生行政・社会福祉・社会保険 第7版 55-56

## 解答・解説

- 140 **解答**: a  
保健所は地域保健法に基づいて設置される。また、同法においてその業務が定められている。
- a ○
- b × 福祉事務所などが窓口となって、知事が交付する。
- c × 社会保険事務所などが行う。
- d × 地域保健法に基づいて設置される。
- 文献**: 衛生学・公衆衛生学 101-102  
最新歯科衛生士教本 保健生態学 218-219
- 141 **解答**: b  
我が国における職業性疾病で最も多いのは「負傷に起因する疾病」で、次いで「じん肺」である。じん肺は、粉塵を吸入することによって肺に生じた線維増殖性変化を主体とする疾病である。
- a × メッキ作業で問題となるのは、使用する酸による健康障害である。
- b ○
- c × 製材作業で出る粉塵は比較的大きいため、肺胞には達しない。
- d × 放射線による障害ではじん肺は生じない。
- 文献**: 衛生学・公衆衛生学 161-162  
最新歯科衛生士教本 保健生態学 285-287

- 142 **解答**: b, c  
「6つの基礎食品」は厚生省（現厚生労働省）が栄養指導に使用している最も基本となる分類法である。第1群は肉、卵、大豆など主としてタンパク質供給源となる食品、第2群は牛乳、小魚、海藻など主としてカルシウム供給源となる食品、第3群はカロチン供給源となる緑黄色野菜、第4群は果物、淡色野菜などビタミンC供給源となる食品、第5群は穀類、砂糖など糖質性エネルギー供給源となる食品、第6群は油脂類など脂質性エネルギー供給源となる食品である。
- a × 大豆製品である納豆は第1群に分類される。
- b ○
- c ○
- d × きゅうりは淡色野菜であり、第4群に分類される。
- 文献**: 栄養指導・生化学 92  
最新歯科衛生士教本 栄養と代謝 206  
ポイントチェック② 第4版 119-120

- 143 **解答**: a, d  
血糖値とは血液中のグルコース量を指し、健常人（糖尿病でない人）では空腹時70~100mg/dLである。食後などに血糖値が上昇すると、副交感神経を介して膵臓ランゲルハンス島B細胞が刺激され、ペプチドホルモンであるインスリンを分泌させる。分泌されたインスリンは肝臓におけるグリコーゲンの合成を促進し、血糖値は低下する。
- a ○
- b × 膵臓ランゲルハンス島A細胞はグルカゴンを、B細胞はインスリンをそれぞれ合成・分泌する。
- c × インスリンはペプチドホルモンである。
- d ○
- 文献**: 栄養指導・生化学 176-178  
最新歯科衛生士教本 栄養と代謝 45

## 解答・解説

144

解答：c

生体内でリノール酸はγ-リノレン酸を経て、アラキドン酸に変換される。

- a ×  
b ×  
c ○  
d ×

文献：最新歯科衛生士教本 化学 152  
ポイントチェック② 第4版 114

## 歯科衛生士概論

145

解答：a

歯科衛生士が、歯科衛生士としての業務を行った場合には、その記録を作成するとともに、保存することが規定されている。業務記録に記載する項目や様式に定めはないが、情報共有のツールとして、誰が読んでも理解しやすいような記載を行うことが必要である。

- a ○ 業務記録の保存期間については、施行規則第18条により、3年間と定められている。  
b × 歯科衛生業務記録は、患者の主観的情報だけでなく、検査・診査などによる客観的情報、術者の判断、歯科衛生介入の方針、実施内容などを記載する。  
c × 業務記録の記載に関する項目や様式に定めはない。  
d × 違反した場合の罰則規定はないが、法令の規定に基づく文書であり、正確な記載と的確な保管を行う必要がある。

文献：歯科衛生士概論 24、95-101  
最新歯科衛生士教本 歯科衛生士と法律・制度 第2版 36-37

## 臨床歯科医学

146

解答：a、b

紫外線灯が点灯しているときは、直視したり直接浴びることは避けなければならない。

- a ○  
b ○  
c ×  
d × 最も消毒作用の強い紫外線波長は260 nmである。

文献：歯科器械の知識と取り扱い 34-35

147

解答：c

出血性素因を原因別に分類すると血管壁の異常、血小板の異常、凝固因子の異常、線維素溶解能の亢進に分けられる。線維素溶解能の亢進にはフィブリン体分解産物(FDP)などの検査がある。

- a ○ 血管壁の異常には出血時間や毛細血管抵抗試験などの検査がある。  
b ○ 血小板の異常には数と機能の異常があり、出血時間などの検査がある。  
c × 白血球数の異常は炎症などに関係する。  
d ○ 凝固因子の異常には部分トロンボプラスチン時間(PTT)やプロトロンビン時間(PT)などの検査がある。

文献：臨床検査法 81-85  
最新歯科衛生士教本 臨床検査 30-32

## 解答・解説

148

解答：c、d

Ⅱ級複雑窩洞は、近心壁(もしくは遠心壁)、髓壁、頬側壁、舌側壁、軸壁、歯肉壁の6つの窩壁から構成されている。通常、窩壁の名称は、対応する歯面の名称によぶ。

- a × 上顎左側第二小臼歯という設定から考えると遠心壁であることがわかる。  
b × 髓下壁は歯髄を除去し髓床底に形成された窩底をいう。歯頂側から歯髄に近づく歯軸に直交する壁は髓壁である。  
c ○  
d ○

文献：保存修復学・歯内療法学 30-33  
最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 21-23

149

解答：c

設問の写真は、スプーンエキスカベーターで軟化象牙質を除去しているところである。

- a × チゼルは窩壁の平坦化に用いる。  
b × アンクルフォーマーは窩洞の隅角を鮮明にするのに用いる。  
c ○ スプーンエキスカベーターはスチールバーなどの回転用切削具に比べ発熱や振動もなく、必要部分のみを除去することができる。  
d × ジンバルマー-ジントリマーは歯肉壁のベベル形成に用いる。

文献：保存修復学・歯内療法学 43-45  
ポイントチェック③ 第4版 59

150

解答：c

歯髄保存療法のうち覆髓法は、歯髄への刺激の遮断による歯髄保護、第二象牙質形成を目的としている。水酸化カルシウムは硬組織形成促進作用に優れ、軟化象牙質の再石灰化作用を有する。

- a × 歯髄鎮静効果があるが、第二象牙質形成には効果がない。  
b × 根管消毒剤や根管充填剤として使用される。覆髓剤としての効果は期待できない。  
c ○ 直接覆髓に使用すると露髄面に象牙質を形成し、また、暫時的間接覆髓では軟化象牙質の硬化や歯髄側に象牙質を形成する。  
d × 歯髄刺激が強くと、歯髄に直接作用させると壊死を起こす。間接覆髓剤や根管消毒剤として使用される。

文献：保存修復学・歯内療法学 175-177  
最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 130-136

151

解答：c

抜髄の正しい術式を理解する。

- a × 除痛は処置前に行う。  
b × 根管粘薬は根管清掃後に行う。  
c ○ 根部歯髄の除去前に根管長を測定しておく必要がある。  
d × ラバーダム防湿は歯髄へのアプローチ前に行う。

文献：保存修復学・歯内療法学 188-196  
最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 140-143

## 解答・解説

- 152 **解答**: a  
根尖切除法を行った症例である。根尖病巣とその原因である歯根尖を同時に除去して歯の保存をはかる方法で、根尖病巣に存在する歯根尖は、病巣の一部とみなし除去される。  
a ○  
b × 下顎大白歯の根分岐部病変や髄床底穿孔に対して、歯を近遠心の2つに分割し、それぞれ保存する方法である。  
c × 下顎大白歯の近心根あるいは遠心根の歯冠と歯根を除去し、残部の歯を保存する方法である。  
d × 歯根から歯槽骨内に達するピンを挿入して、歯の骨植を堅固にする方法である。
- 文献**: 保存修復学・歯内療法学 225-228  
最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 174-178  
ポイントチェック③ 第4版 77
- 153 **解答**: a, b  
写真はフラップ手術の術中である。  
a ○  
b ○ 術後、知覚過敏に留意が必要である。  
c × 骨縁下ポケットが適応である。  
d × 通常、歯周基本治療終了後の再評価後に行う。
- 文献**: 最新歯科衛生士教本 歯周治療 93-95
- 154 **解答**: a  
歯の固定法の種類と方法について理解する。  
a ○ 歯の動揺、移動、挺出、食片圧入などを防止する。  
b × 咬合力を多数歯に分散する。  
c × A-スプリントは内側性固定である。  
d × 全部鋳造冠は最終補綴物であり、それによる固定は永久固定である。
- 文献**: 最新歯科衛生士教本 歯周治療 73、105-107
- 155 **解答**: c  
支台築造の目的は歯質の保護、強化と保持力の強化である。  
a × テンポラリークラウンの目的である。  
b × テンポラリークラウンの目的である。  
c ○ 支台形態を整えてクラウンの保持力を強化する。  
d × テンポラリークラウンの目的である。
- 文献**: 歯科補綴学 51-53  
最新歯科衛生士教本 歯科補綴 77-78
- 156 **解答**: a, b  
各補綴装置の特徴ならびに使用器材を理解しておく。  
a ○ 咬合紙ホルダーは咬合調整時に咬合紙をはさむ器具である。  
b ○ 咬合平面板は咬合床を用いて咬合平面を設定するときに使用する器具である。  
c × シェードガイドは色見本である。前装冠の色調、義歯の人工歯選択などに使用する。  
d × コンタクトゲージはクラウン試適時などに隣在歯との接触強さをはかる器具である。
- 文献**: 歯科補綴学 62、119、153  
最新歯科衛生士教本 歯科補綴 80-81、127、130-131

## 解答・解説

- 157 **解答**: c, d  
写真はレジン床の全部床義歯である。構成要素はレジン床と人工歯のみであり、粘膜支持形式となる。  
a ×  
b ×  
c ○ 咬合高径の決定には、下顎安静位を利用する方法が多くとられる。  
d ○
- 文献**: 歯科補綴学 107-131  
最新歯科衛生士教本 歯科補綴 53-54
- 158 **解答**: c, d  
ジャケットクラウンや前装鋳造冠は、生活歯と失活歯の両方に用いられ、審美性の再現と強度を得るために、金属冠や部分被覆冠よりも歯質の削除量が多い。  
a × ジャケットクラウン、前装鋳造冠はともに全部被覆冠である。  
b × ジャケットクラウンは歯冠色材料のみで製作されるため、強度不足で大白歯には用いない。前装鋳造冠は鋳造して製作したメタルフレームに前装材料を築盛するので大白歯にも用いられる。  
c ○  
d ○
- 文献**: 歯科補綴学 43-47  
最新歯科衛生士教本 歯科補綴 46-48
- 159 **解答**: d  
写真は破骨鉗子で骨の鋭縁を除去する器具である。この鉗子の特徴は、先端に刃がついているため骨の削除が容易で、把柄部の間にバネがあることにより、常に鉗子の先端を開いた状態に保つことができる。この2点が抜歯鉗子との大きな違いである。  
a ×  
b ×  
c ×  
d ○
- 文献**: 口腔外科学・歯科麻酔学 132-134  
最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 143-144
- 160 **解答**: b, d  
局所麻酔薬の特徴を理解する。  
a × 血管収縮薬は頻脈を引き起こす。  
b ○ 血管収縮薬は出血を防止させる。  
c × 不整脈は関係がない。  
d ○ 急性中毒の防止は添加する目的の1つである。
- 文献**: 口腔外科学・歯科麻酔学 167  
最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 188
- 161 **解答**: c, d  
精神鎮静法による鎮静状態の徴候を理解する。  
a × 身体は温かくなる。  
b × 呼吸等のバイタルサインは安定している。  
c ○  
d ○
- 文献**: 口腔外科学・歯科麻酔学 172-175  
最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 196

## 解答・解説

162 解答: c, d

歯の移動について、図の移動形式は傾斜移動であり、歯冠は矯正力と同じ方向に移動するものの、歯根の先端部付近は矯正力とは逆の方向への移動をみせる。

- a × ③部の歯根膜は圧縮される。
- b × トルクは歯冠を移動させずに歯根を移動させるような様式である。
- c ○ ①部の歯根膜は伸展され、線維芽細胞の増殖が起こるとされる。
- d ○ ②部が圧迫され、④部は牽引される。圧迫された骨表面に破骨細胞は多くみられる。

文献: 歯科矯正学 57-60  
最新歯科衛生士教本 歯科矯正 55-56  
ポイントチェック④ 第4版 56-57

163 解答: b

写真の状況はアーチワイヤーをリガチャーワイヤーでブラケットに結紮しているところである。次に行う操作は、リガチャーワイヤーの余剰部分を切断することである。リガチャーワイヤーの切断にはピンアンドリガチャーカッターを用いる。

- a × ワイヤークッター (ニッパー) は口腔外でアーチワイヤーや技工用のワイヤー (太いワイヤー) を切断するのに用いる。
- b ○
- c × セイフティディスタルエンドカッターは口腔内・外でアーチワイヤーを切断する際に用いる。
- d × ツィードアーチペンディングブライヤーは角ワイヤーを屈曲するのに用いる。

文献: 歯科矯正学 81-82  
最新歯科衛生士教本 歯科矯正 129-130  
ポイントチェック④ 第4版 61-62

164 解答: b

- a × アクチバートルは、叢生の改善には用いられない。
- b ○ ヘッドギアは、上顎骨の成長を抑制する目的で使用される。
- c × リップバンパーは、下顎大白歯の遠心移動に用いる。
- d × 舌側弧線装置は、骨格性下顎前突による反対咬合でなければ適応症である。

文献: 歯科矯正学 93-101  
最新歯科衛生士教本 歯科矯正 64-79

165 解答: d

- a × 垂直被蓋は上顎または下顎の前歯が正面から見えなくなるほど大きくない。
- b × Hellman の歯齢 (デンタルエイジ) の IC は乳歯咬合完成前である。この写真では下顎中切歯の萌出が認められる。
- c × 霊長空隙とは、乳歯列にみられる生理的空隙のうち、上顎では乳側切歯と乳犬歯の間、下顎では乳犬歯と第一乳臼歯の間にみられるものをいう。写真では下顎歯列に霊長空隙は認められない。
- d ○

文献: 歯科矯正学 16-23  
最新歯科衛生士教本 歯科矯正 20-21

## 解答・解説

166 解答: a, b

自閉症児の特徴について理解する。

- a ○
- b ○ こだわりのある記憶力が強い。
- c ×
- d × 人とコミュニケーションをとるのが苦手である。

文献: 小児歯科学 188-189  
最新歯科衛生士教本 小児歯科 115-117  
歯科衛生士のための障害者歯科 第3版 51-52

167 解答: b

小児期のう蝕とその対応について診査、処置ともに理解する。

- a × 乳歯ではブリーチングは行わない。
- b ○ 実質欠損もあり、前歯部であることから審美的歯冠修復処置を実施する。
- c × う蝕罹患型は A 型である。
- d × う蝕進行抑制処置はほかの部位に永久歯が萌出したら中止しなければならない。

文献: 小児歯科学 60、140-142  
最新歯科衛生士教本 小児歯科 144

168 解答: d

- a × 第一反抗期は3歳頃を迎える。
- b × 人見知りは6か月頃から3歳くらいまでに現れる。
- c × 新生児期は出生から満4週である。
- d ○ 社会性の発達に伴い複数の友達と仲良くできるようになる。

文献: 小児歯科学 80-82  
最新歯科衛生士教本 小児歯科 60-63

169 解答: a, d

- a ○ 胸腺は加齢に伴い萎縮するとともに、高齢期にはさまざまな変化・機能低下がみられ、脂肪組織に置換される。
- b × 加齢変化に伴い、脳は萎縮する。
- c × 動脈硬化などにより血管壁の弾力性が低下するため、血管抵抗は増加する。
- d ○ 細気管支が閉塞してくるため、呼吸が不十分になり機能的残器量は増加する。

文献: 最新歯科衛生士教本 解剖学・組織発生学・生理学 182-183  
高齢者歯科ガイドブック 21-23

170 解答: c, d

高齢者医療にはチーム医療として、医療職だけでなく介護職や家族を含めての連携が求められる。ほかに医師、看護師、歯科医師、歯科衛生士、言語聴覚士、義肢装具士、視能訓練士、薬剤師、訪問看護師、保健師、臨床心理士なども含まれる。

- a × 介護福祉士は身体的介護や介護指導を行う。
- b × 作業療法士は手芸、工作などで応用動作能力や社会的適応能力の回復訓練を行う。
- c ○ 社会福祉士は福祉に関する相談・援助・指導を行う。
- d ○ 理学療法士は立つ、歩くなどの基本的動作能力の回復訓練を行う。

文献: 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 113-115  
歯科衛生士のための摂食・嚥下リハビリテーション 180-186  
高齢者歯科ガイドブック 113-114

## 解答・解説

- 171 解答：c  
 咳反射に関連する神経伝達物質を理解する。咳反射の役割は、気道・肺への口腔からの食塊や雑菌の侵入を防ぐことである。  
 a × 血管拡張や不随意筋の収縮、かゆみや痛みの原因となる。  
 b × ストレス反応の中心的な役割をし、血中に放出することにより、心拍数・血圧上昇などの作用がある。  
 c ○ 咳反射・嘔下反射に関わり、迷走神経や舌咽神経の末梢に蓄積された SP が放出され咳反射や嘔下反射が起こる。これら反射が不十分な場合、誤嚥リスクが増大する。  
 d × 交感神経の節前線維、副交感神経の節後線維、自律神経、運動神経の伝達物質としての役割を果たしている。

文献：最新歯科衛生士教本 薬理学 37  
 歯科衛生士のための摂食・嚥下リハビリテーション 44-45

- 172 解答：b  
 a × 認知症特有の症状ではない。  
 b ○ 異食とは食べられないものを口にしてしまうことである。  
 c × 認知症特有の症状ではない。  
 d × 認知症特有の症状ではない。

文献：ポイントチェック④ 第4版 138

- 173 解答：a  
 筋ジストロフィーとは、骨格筋の破壊による筋肉の機能障害を引き起こす疾患である。脳性麻痺と異なり、進行性病変である知的障害を伴わないが、言語障害があるため、術者との意思の疎通が困難なことが多い。病変の進行に伴い筋力が低下し、開咬をきたす。  
 a ○ 筋力低下に起因して起こる。  
 b × 過剰歯はまれである。  
 c × 下顎角の肥大は特徴であるが、小下顎症は特徴ではない。  
 d × ダウン症の特徴である。

文献：最新歯科衛生士教本 障害者歯科 54-57

## 歯科予防処置論

- 174 解答：a、d  
 歯周病を発症させる因子には全身的なものとするものがある。全身的因子は歯周病の修飾因子の1つで、プラークによって生じた歯肉炎や歯周炎の進行を早める。  
 a ○ 糖尿病は、歯周組織の抵抗力の減少を生じ、高度の歯周炎を生じやすい。  
 b × 口呼吸は局所因子である。口呼吸により上顎前歯部などの局所が乾燥状態に陥り、自浄作用が低下し、プラークが面に付着しやすくなる。  
 c × プラークは局所因子である。プラークは炎症性因子として歯周病の発症に重要な役割を果たしている。  
 d ○ 後天性免疫不全症候群により免疫応答が低下し、高度の歯周炎を生じやすい。

文献：歯科予防処置 21-25  
 最新歯科衛生士教本 歯周治療 30-34

## 解答・解説

- 175 解答：b、d  
 正常な歯肉の状態を理解することにより、その差異から病的歯肉の把握が可能である。  
 a × クレフトとは辺縁歯肉に生じたV字型の裂け目のことをいう。  
 b ○ 正常な歯肉の色は淡いピンク（コーラルピンク）といわれるが、上皮の厚さや角化の程度、メラニンの色素沈着などにより変化してくる。  
 c × 歯間乳頭は歯間部空隙を満たす歯肉で、正常な形は三角形、扇状、ピラミッド状などといわれる。  
 d ○ 付着歯肉は歯根や歯槽骨に付着している歯肉を意味しており、遊離歯肉溝底から歯肉歯槽粘膜境までをいう。健康な歯肉にはスティッピングが認められる。

文献：歯科予防処置 121-122  
 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 84-85  
 ポイントチェック⑤ 第4版 4-5

- 176 解答：b、d  
 脳貧血とは、脳への血液供給が悪くなって起こる機能障害であり、疼痛刺激、恐怖心、不安感、ストレスなどから起こることが多いので診療前の患者への確認（睡眠不足、疲労など）で未然に防げる可能性がある。対応は、何よりも患者を不安にさせないようにし、歯科医師の指示を仰ぐ。体勢は水平仰臥位―顔面側方位にさせ安静に保ち、下肢を約15°挙上させるショック体位をとり、衣服による圧迫を緩める。また換気して新鮮な空気を取りいれたり、必要に応じて酸素吸入を行い、バイタルサインの確認を行う。  
 a ×  
 b ○  
 c ×  
 d ○

文献：歯科予防処置 150-158  
 ポイントチェック⑤ 第4版 24

- 177 解答：b  
 まず歯面にペリクル（獲得皮膜）が形成され、24時間経過でグラム陽性菌が増加、ペリクルに付着し歯肉縁上プラークの形成に影響を及ぼすようになる。6～10日経過でグラム陰性嫌気性菌が増加する。プラークが辺縁歯肉に蓄積し、歯肉炎が起こる。  
 a × タグは小窩裂溝填塞法で酸処理後にみられるエナメル小柱と填塞材が重合したもので、填塞材を保護するものである。  
 b ○  
 c × ステインは外来性の色素沈着物（たばこのヤニ、茶渋など）や色素産生菌によって歯の表面に付着した汚れである。  
 d × マテリアアルバ（白質）はプラークの外側を覆う脆弱な白色の沈着物であり、強い洗口やスプレー洗浄で除去できる。

文献：歯科予防処置 21-23  
 最新歯科衛生士教本 口腔保健管理 43

- 178 解答：c、d  
 プローピングは、歯周組織の検査において、直視できない部分や直視しにくい部分をプローブを用いて探索することであり、歯周組織の状態を確認するためには欠くことのできない操作である。  
 a × プローピング圧は20～25gである。  
 b × プローブは歯軸に平行に挿入する。プローブの先端は歯面から離さず、ゆっくりすべらせて挿入する。  
 c ○ 4点法とは、頬側面の近心隅角、中央部、遠心隅角の3点と、舌側面の中央部1点を測定するか、頬側面と舌側面は中央部を、近心部と遠心部は隣接面をそれぞれ1点ずつ測定する方法である。  
 d ○

文献：歯科予防処置 122-124  
 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 93-99

## 解答・解説

- 179 解答：a、d  
 a○ セメント-エナメル境は定点であるため変化しない。したがって、歯周疾患の経時的変化を把握するうえで、客観性や再現性が高い検査である。  
 b× ポケットデプスは歯肉辺縁からポケット底部までの距離をいい、歯肉の炎症などにより値が変化しやすい。  
 c× アタッチメントレベルはセメント-エナメル境を基準点としているため、ポケット底部の位置が同じであれば歯肉の形態の変化があってもその値は変化しない。  
 d○ アタッチメントレベルはセメント-エナメル境からポケット底部までの距離である。

文献：最新歯科衛生士教本 歯周治療 54  
 ポイントチェック⑤ 第4版 6

- 180 解答：c  
 a× 前歯部用である。  
 b× 白歯歯頸部用である。  
 c○ 白歯部近心隣接面用である。  
 d× 白歯部遠心隣接面用である。

文献：歯科予防処置 135  
 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 154

- 181 解答：b、c  
 a× シックルタイプスクレーラーは両刃なので、近心隣接面と遠心隣接面の両隣接面の歯石除去ができる。その際、第1シャンク部は歯軸と平行になるようにセットする。  
 b○  
 c○  
 d×

文献：歯科予防処置 82-85  
 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 139-140

- 182 解答：b、c  
 a× 患者頭部はやや右に傾ける。  
 b○  
 c○  
 d× グレーシータイプキュレットは#5を使用する。

文献：歯科予防処置 100、128  
 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 142

- 183 解答：a、d  
 写真はエアスケーラーである。  
 a○  
 b× エアスケーラーはルートプレーニングには不適である。  
 c× 超音波スケーラーの振動数が25,000~42,000 Hzであるのに対し、エアスケーラーは2,000~6,600 Hzと約1/10の振動数である。  
 d○

文献：歯科予防処置 173-177  
 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 171-172

## 解答・解説

- 184 解答：a、c  
 シヤープニングとは、刃の原形（角度）を維持しながら、変形した刃部を砥石ですり減らして元の切れ味に復元させる操作のことである。  
 a○  
 b×  
 c○ アーカンソー砥石に適した潤滑剤は鉱物油である。  
 d× 粗い砥石を使用した後、仕上げに細かい砥石を使用する。

文献：歯科予防処置 103-115  
 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 155-161

- 185 解答：d  
 写真は、カリオスタット®の比色計である。カリオスタット®はプラークを検体とし、プラーク中の細菌の酸産生能を調べることによりう蝕活動を調べる試験である。  
 a× *S. mutans* の菌数を測定するミューカウント®が該当する。試験管壁についた集落数を測定する。  
 b× スナイダーテストが該当する。このテストも色判定によりう蝕活動を判別する。緑色が黄色に変化していくにつれて活動性が高くなり、陽性の判定となる。  
 c× プラーク中の *S. mutans* の算定をする検査方法が該当する。しかし、う蝕活動性試験では細菌の菌数を測定する場合は検体として唾液を用いる試験法が多い。  
 d○

文献：歯科予防処置 218  
 口腔衛生学・歯科衛生統計 59-62  
 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 123-124

- 186 解答：b、d  
 フッ化物のう蝕抑制機序は、低濃度のフッ化物（F：500 ppm 以下）を用いた場合、ハイドロキシアパタイトからフルオロアパタイトが形成される。高濃度のフッ化物（F：500 ppm 以上）を用いた場合はフッ化カルシウムとフルオロアパタイトが形成される。設問にあるフッ化物局所応用に用いるフッ化物溶液の濃度は9,000~12,300 ppmであり、高濃度の反応である。  
 a× タンパク銀はフッ化ジアンミン銀を作用させた場合に形成されるもので、銀イオンがタンパク質に作用して生じる。  
 b○ 高濃度のフッ化物を作用させた場合、まずフッ化カルシウムが形成される。  
 c× 水酸化カルシウムは、フッ化物による急性症状が生じた場合の救急処置に用いる。  
 d○ 高濃度のフッ化物を作用させた場合、フッ化カルシウム形成後、フルオロアパタイトが形成される。

文献：歯科予防処置 212-213  
 最新歯科衛生士教本 保健生態学 152、174-175  
 ポイントチェック⑤ 第4版 25

- 187 解答：a、b  
 フッ化物歯面塗布法に用いられるフッ化物には、リン酸酸性フッ化ナトリウム溶液・ゼリーと2%フッ化ナトリウム溶液が一般的に用いられる。近年ではフォーム（泡）状のものも用いられるようになった。  
 a○ フォームは溶分量が少なくすむため、誤飲しても危険性が少ない。  
 b○ ゼリーは溶液に比べ歯面への停滞性に優れているが、余剰の薬剤を拭う（払拭）必要がある。  
 c× 2%フッ化ナトリウム溶液は無味である。  
 d× リン酸酸性フッ化ナトリウム溶液は年2回、2%フッ化ナトリウム溶液は2週間に4回の塗布を年2回行う。

文献：歯科予防処置 208-209、233-236  
 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 190-196

## 解答・解説

- 188 解答：d
- a ×  
b ×  
c ×  
d ○ 0.2%フッ化ナトリウム溶液は2%フッ化ナトリウム溶液の1/10なので1 mL中のフッ素量は0.9 mgとなる。使用した洗口液は10 mLなのでフッ素量は9 mgとなる。  
計算式  $2:0.2=9:x$   
 $x=0.9$  (1 mL中のフッ素量)  
(洗口液は10 mLなので)  $0.9 \times 10=9$  mg

文献：最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 188

- 189 解答：a、c
- 小窩裂溝充填法は深い複雑な溝をもつ臼歯に Bis-GMA 系やガラスイオノマー系充填材などを充填し、う蝕を予防する方法である。
- a ○ 深い、複雑な溝をもつ臼歯を対象とする。  
b × 小窩裂溝充填法はう蝕がない健全歯を対象とする。  
c ○  
d × 充填材の破折や摩耗をチェックするためメンテナンスは必要である。

文献：歯科予防処置 215-218  
最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 200-201  
ポイントチェック⑤ 第4版 35

## 歯科保健指導論

- 190 解答：d
- プリシード・プロシードモデルは、ヘルスプロモーションを実践するモデルである。このモデルは、最終目標を生活の質である QOL とし、それに影響している要因を診断して計画する過程であるプリシードと、計画したことを実施・評価する過程であるプロシードで構成されている。教育・組織診断の段階では、ライフスタイルや保健行動に影響している準備因子と強化因子、実現因子を抽出し、その課題を解決できるように健康教育を計画、実施する。
- a ○ 準備因子は、保健行動を起こすために本人に事前に準備されるべき条件で、健康問題に対する知識やその保健行動をやってみようという態度、保健行動を実施できそうだという自信などである。  
b ○ 実現因子は、準備因子が整い行動を実施しようとするときに必要な条件で、保健行動に必要な本人の技術や身近な設備などである。  
c ○ 強化因子は、保健行動を継続させるための行動後の正の刺激であり、爽快感や達成感、周りの人たちの反応などである。  
d ×

文献：最新歯科衛生士教本 口腔保健管理 17-18

- 191 解答：b、c
- 高齢者は加齢によって各臓器の機能が低下し慢性疾患が多発し、口腔領域にもさまざまな変化が起こる。
- a × 高齢者は粘膜上皮が薄くなり粘膜全体が萎縮する。咽頭の位置も加齢に伴い徐々に下降するため、1回の嚥下で食塊を咽頭から食道へ送り込むことが困難になるが、発声とは関連性はない。  
b ○ 高齢者の口腔粘膜では、重層扁平上皮よりなる粘膜上皮が薄くなり、粘膜下組織も萎縮し、弾力を失う。  
c ○ 唾液腺は加齢に伴い退行性的変化を呈する。  
d × 舌筋の筋力は低下するが、舌の大きさの変化はみられない。

文献：最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 19-29  
最新歯科衛生士教本 口腔保健管理 91-95

## 解答・解説

- 192 解答：c
- フッ化物配合歯磨剤のう蝕予防メカニズムを有効に作用させるために、使用するフッ化物の応用量、作用時間、洗口回数などに方法などの使用法を指導する。
- a × 2歳  
b × 3~5歳：5 mm 程度 (約 0.25 g)  
c ○ 6~14歳：1 cm 程度 (約 0.5 g)  
d × 15歳以上：2 cm 程度 (約 1 g)

文献：最新歯科衛生士教本 保健生態学 168-171

- 193 解答：a
- 口腔清掃指導を行う場合、患者の口腔内の状態や検査結果から問題点を把握し、効果的かつセルフケアが無理なく継続できる方法を指導しなければならない。そのためには、歯ブラシや補助的清掃器具の選択と使用方法を正しく理解する必要がある。この患者の場合、上下左右臼歯部の歯周ポケットの深さとプロービング時の出血、隣接面の清掃が不十分であることに注目しなければならない。
- a ○  
b × ラバーチップは歯肉マッサージには有効であるが、歯間部や隣接面の清掃効果は期待できない。  
c × 叢生部や大きな歯肉退縮がある場合に適している。  
d × 口腔粘膜の清掃不良はみられない。

文献：最新歯科衛生士教本 口腔保健管理 139

- 194 解答：a
- 行動変容法やレスポナント (古典) 条件づけやオペラント (道具的) 条件づけなど、心理学の学習理論に基づいた行動科学の技法を臨床に応用するものである。
- a ○ レスポナント条件づけの理論を応用して、恐怖、過敏反応をなくしていく方法をレスポナント技法といい、刺激統制法、脱感作法、フラッディング法などがある。  
b × Tell-Show-Do 法は、患者さんに、説明し (Tell)、みせて (Show) から、行う (Do)。実物を示しながら TSD によって理解させ、適応行動がとれるようにすることである。  
c × TEACCH (ティーチ) プログラムは、診療の意義や手順がはつきり理解できないために適応行動がとれない患者さんに対し、記号や絵カードなどを用いて理解させる技法である。  
d × モデリング法とは他人の行動 (実演) を観察させたり、模倣させることで、適応行動がとれるようにする認知行動療法のことである。

文献：最新歯科衛生士教本 障害者歯科 21-33

- 195 解答：b
- a × 平成 12 年に、農林水産省、文部省 (現文部科学省)、厚生省 (現厚生労働省) が連携して健康づくりのための「食生活指針」を策定し、推進している。  
b ○ 平成 17 年より食を通じた子どもの健全な育成のために食育基本法が施行され、家庭や学校、地域を通じて食生活に関する適切な知識や判断力を身につける食育が推進されている。  
c × 「健康日本 21」を中核とする国民の健康づくりや疾病予防を積極的に推進するため、平成 15 年に「栄養改善法」を改正して「健康増進法」が施行された。  
d × 平成 17 年に「食事バランスガイド」を策定し、望ましい食事の摂り方やおよその量を具体的なイラストで示している。

文献：最新歯科衛生士教本 保健生態学 83-84

## 解答・解説

196	<p><b>解答:</b> b、d</p> <p>学習援助型健康教育とは、対象者主体の健康教育であり、専門家はその者の学習意欲を引き出すように援助や助言することで、対象者は問題発見・問題解決能力を身につけ、自己管理能力を高めることができる。</p> <p>a × 対象者が自分自身の問題点を把握できるような助言を行う。</p> <p>b ○ 基準値や以前の検査結果と比較することで、自分の相対的位置を確認してもらう。</p> <p>c × 話し上手、聞き上手は指導型の健康教育である。</p> <p>d ○ 記録を通じて自分自身の健康上の問題を把握することができる。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 口腔保健管理 18-21</p>
197	<p><b>解答:</b> b、c</p> <p>a × 歯列・咬合は異常なしである。</p> <p>b ○ 要観察歯、未処置歯ともにみられる。</p> <p>c ○ 要観察歯がみられることや、プラークコントロールができていないことから、積極的なフッ化物の応用が必要である。</p> <p>d × 歯肉の状態は1で、歯肉に軽度の炎症がみられる。歯科医師による治療ではなく、注意深いブラッシングと定期的な観察が必要である。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 保健生態学 258-268</p>
198	<p><b>解答:</b> b</p> <p>児童会活動などの特別活動は保健指導の領域に含まれる。</p> <p>a × 保健学習は、「健康の保持増進を図るのに必要な知識」の理解と習得を目標としている。体育科や保健体育科の中で各学習指導要領に基づいて実施されている。</p> <p>b ○</p> <p>c × 対人管理には、健康診断や伝染病の予防、生活の管理などがある。</p> <p>d × 対物管理には、学校環境の衛生的管理、学校環境衛生検査などがある。</p> <p><b>文献:</b> 口腔衛生学・歯科衛生統計 146-152 最新歯科衛生士教本 保健生態学 258-261</p>
199	<p><b>解答:</b> b</p> <p>栄養状態の不良は、入院期間の長期化や死亡率の増加につながる。このような問題を解決するために、NST は始まった。</p> <p>a ×</p> <p>b ○ NST とは (Nutrition Support Team : 栄養サポートチーム) のことである。近年では多くの病院で NST が構成され、歯科衛生士がチームの一員となることもある。</p> <p>c ×</p> <p>d ×</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 76</p>
200	<p><b>解答:</b> a</p> <p>歯科保健指導用のパンフレットは、わかりやすい文章表現や図表を用いることが重要である。収集した情報や調査結果はまず表にまとめ、その内容に適したグラフ (図) を選択する。この場合、割合を表すので円グラフが有効である。</p> <p>a ○ 構成割合を示す場合に有効である。</p> <p>b × 度数分布を示すのに有効である。</p> <p>c × 複数の項目を比較する場合に有効である。</p> <p>d × 時系列変化を示す場合に有効である。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 保健情報統計学 124-125</p>

## 解答・解説

201	<p><b>解答:</b> a</p> <p>自動体外式除細動器 (AED: Automated External Defibrillator) とは、心臓が痙攣し血液を流すポンプ機能を失った状態 (心室細動) になった心臓に対し、電気ショックを与え正常なリズムに戻すための医療機器である。平成 16 年 7 月より医療従事者ではない一般市民でも使用できるようになり、人が多く集まる場所を中心に設置されている。緊急の場合に備え、心肺蘇生法の手順とともに使用上の注意も熟知しなければならない。</p> <p>a ○ 医師、看護師、救急救命士以外でも取り扱うことができる。</p> <p>b × ペースメーカー埋込み部分から 3 cm 程度離れたところに電極パットを貼って使用する。</p> <p>c × 電極パットを貼りつけた時点で傷病者から離れなければならない。</p> <p>d × 1 歳未満の乳児には AED を用いてはならない。</p> <p><b>文献:</b> 口腔外科学・歯科麻酔学 188 最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 209-211、260-261</p>
202	<p><b>解答:</b> b、c</p> <p>パーキンソン病の一般的特徴として、体のふるえ (振戦)、強直、姿勢反射の消失、動作緩慢などがあげられる。顔面や口腔の特徴としては、表情が固定される、首の振戦や嚥下困難、過剰な唾液分泌や流涎などがある。</p> <p>a × パーキンソン病では、動作がゆっくりになる、前傾姿勢になり転びやすい、顔の表情が乏しくなる、といった症状を示す。これらの症状を無動または寡動という。</p> <p>b ○</p> <p>c ○</p> <p>d × パーキンソン病は血液疾患ではなく、脳の中脳にある黒質神経細胞が変性し、神経伝達物質であるドーパミンが減少することで、さまざまな症状を呈する病気である。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 障害者歯科 18-19 歯科衛生士のための障害者歯科 第 3 版 131-133</p>
203	<p><b>解答:</b> c</p> <p>a × 禁煙することに関心がない (無関心期) 者への対応である。</p> <p>b × 禁煙に関心はあるが、当分実行する気はない (関心・無企画期) 者への対応である。</p> <p>c ○ 禁煙の意志を高め、禁煙の実行に向けての具体的な準備を始められるよう導く。</p> <p>d × すぐにでも禁煙を実行しようと思う (準備期) 者への対応である。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 232-235</p>
204	<p><b>解答:</b> b、c</p> <p>行政の保健指導として行われる「訪問口腔衛生指導」は療養上に必要な口腔衛生の指導や介護予防のための助言を目的としている。</p> <p>a × ケアマネジャーの同行は必要としない。</p> <p>b ○ 口腔状態をよく観察し、問題点があれば歯科医師に連絡する。</p> <p>c ○ 訪問口腔衛生指導を行った際には、業務記録の作成が義務づけられている。</p> <p>d × 行政の保健指導は、高齢者の医療の確保に関する法律による「訪問口腔衛生指導」として扱われる。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 保健生態学 278-281</p>

## 歯科診療補助論

205	<p><b>解答：b</b></p> <p>訪問診療では、事前に十分な情報収集が必要である。担当の保健師やホームヘルパーなどと密に連絡をとり、対象者の状況を知っておかなければならない。</p> <p>a○ 治療ができる状態か否か、また容態の変化があるかないかを確かめるために必要である。</p> <p>b× 感染予防の観点から、グローブやマスクの使用は必要である。</p> <p>c○ 身体的に疲労するため、まずは患者への配慮を優先する。</p> <p>d○ 訪問先での後処理は困難であることから、できるだけディスプレイザブルにするのが望ましい。</p> <p><b>文献：</b>最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 133-144 ポイントチェック⑤ 第4版 95-101</p>
206	<p><b>解答：a、b</b></p> <p>バキューム操作は、高速切削時、超音波スケーラー使用時など、注水が行われる作業には欠かせない操作であり、補助者には確実な手技が要求される。バキューム操作の目的は、口腔貯留液・飛散削片・汚物・悪臭の吸引による鼻腔気道の確保、軟組織の牽引・圧排による施術野の明視、ならびに作業空間の確保である。</p> <p>a○</p> <p>b○</p> <p>c× 長時間の吸引により口腔が乾燥するので、断続的に使用する。</p> <p>d× 超音波スケーラーの使用の際は、噴霧によって術野の異物を排除、洗浄、除熱をはからなければならないので、チップから出る水を直接吸引しないように注意する。</p> <p><b>文献：</b>歯科診療補助 223-225 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 47-51 ポイントチェック⑤ 第4版 126-127</p>
207	<p><b>解答：b、d</b></p> <p>a× 石膏の硬化促進剤としては、食塩、硫酸カリウムなどがあり、硬化遅延剤として、ホウ砂などが用いられる。</p> <p>b○</p> <p>c× 石膏は練和時間を長くすると、硬化を速める。</p> <p>d○ 歯科用石膏は、石膏の原石 <math>\text{CaSO}_4 \cdot 2\text{H}_2\text{O}</math> (硫酸カルシウム二水塩) を焼いて脱水してつくられる。これを半水石膏 <math>\text{CaSO}_4 \cdot 1/2\text{H}_2\text{O}</math> といい、この焼き方の違いにより、普通石膏や硬質石膏に分けられる。したがって化学的には同じ成分である。</p> <p><b>文献：</b>歯科診療補助 54-58 歯科材料の知識と取り扱い 174-176 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 96-105</p>
208	<p><b>解答：b、d</b></p> <p>精密印象とは、クラウン・ブリッジなどの修復物や補綴物を製作するときに採得する印象である。概形印象とは、研究用模型、診断用模型を得るための印象採得方法である。スナップ印象や予備印象がこれに該当する。</p> <p>a× アルジネート印象材は概形印象に使用される。特徴としては、離液、膨潤、乾燥のための寸法安定性が悪く、永久ひずみが大いため精密印象には不適である。</p> <p>b○ シリコンゴム印象材は精密印象に使用される。特に、シリコンゴム印象材の重付加型は、硬化がシャープで、寸法変化が小さいため精密印象に適している。</p> <p>c× モデリングコンパウンドは概形印象に使用される。その他、無歯顎印象や咬合採得等にも使用される。特徴としては、弾性がほとんどないので、機能印象はとれるが、精密印象のような微細な印象採得は不可能である。</p> <p>d○ 酸化亜鉛ユージノール印象材は精密印象に使用される。特徴としては、印象精度がよく、寸法安定性に優れているので、精密印象に適している。</p> <p><b>文献：</b>歯科診療補助 81-93 歯科材料の知識と取り扱い 104-157 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 72</p>

209	<p><b>解答：c</b></p> <p>a○</p> <p>b○</p> <p>c× サンドラックは辺縁封鎖効果がなく穿通仮封の目的で使用される。</p> <p>d○</p> <p><b>文献：</b>歯科材料の知識と取り扱い 79-94 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 134-142 ポイントチェック⑤ 第4版 134</p>
210	<p><b>解答：a、c</b></p> <p>a○ ラバーダムパンチで歯種により孔の大きさを選択し穿孔する。</p> <p>b× ラバーダムフレームでラバーシートを緊張させ固定する。</p> <p>c○ ラバーダムクランプで有翼型、無翼型があり、前歯用・小臼歯用・大臼歯用の種類がある。上下顎、左右にも分かれる。写真は有翼型、下顎大臼歯用である。</p> <p>d× クランプフォーセップスでラバーダムクランプの着脱に使用する。</p> <p><b>文献：</b>歯科診療補助 233-238 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 53-58 ポイントチェック⑤ 第4版 137</p>
211	<p><b>解答：c</b></p> <p>歯科衛生士は窩洞の形成を行うことはできないが、診療補助の際に使用するバーとその用途を理解していることが、治療をスムーズに進めることにつながる。</p> <p>a○ ラウンドバーは球形状のバーで、う窩の開弧、軟化象牙質の除去、天蓋の除去、レジン窩洞の円形穿下に用いられる。</p> <p>b○ エンドカッティングバーは先端裂溝状バーで、円柱状で頭面にのみ刃がついている。歯肉(顎)壁の掘り下げ、ショルダーの形成などに用いられる。</p> <p>c× インバーテッドコーンバーは倒円錐形バーで、アマルガム窩洞の角形穿下付与、窩底の平坦化に用いられる。</p> <p>d○ テーパードフィッシャーバーは尖形裂溝状のバーで、クロスカット、プレーンカット、ファインカットなどがある。クロスカットは切削効率がよいので、インレー窩洞形成に使われる。</p> <p><b>文献：</b>歯科器械の知識と取り扱い 80 最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 32-34</p>
212	<p><b>解答：c、d</b></p> <p>欠損補綴に必要な主要検査項目を理解する必要がある。咬合接触状態の検査や下顎位および下顎運動の検査法、筋機能の検査などがある。</p> <p>a× 平行測定法はクラウンブリッジの支台歯形成の際に用いる検査で、着脱方向にある支台歯の各面が平行であるかを調べる。</p> <p>b× 咬合音検査法は咬合接触状態の検査で、上下顎の歯の接触する音を調べる。</p> <p>c○</p> <p>d○</p> <p><b>文献：</b>歯科補綴学 169-172 最新歯科衛生士教本 歯科補綴 73-75、144-147 ポイントチェック⑤ 第4版 153-154</p>

## 解答・解説

- 213 **解答**: b  
 義歯の適合を確認する場合、床の適合と咬合調整が行われる。そのときの準備物を確認しておく。  
 a○ プライヤーはワイヤークラスプの調整に使用する。  
 b× リベース剤はリベース（改床法、復床法）に使用するものである。リベースとは、義歯床の不適合の回復・改善のため、義歯床部分を全部交換してしまう方法である。新義歯の場合には、現状の顎に合わせて製作しているので、義歯装着の際に使用することはない。  
 c○ 適合検査材は床内面の加圧状態を確認するために使用する。  
 d○ 咬合紙ホルダーは咬合紙を保持するのに使用し、上下顎人口歯の咬合接触状態を点検するために使用する。

**文献**: 歯科診療補助 191-193  
 歯科材料の知識と取り扱い 242  
 最新歯科衛生士教本 歯科補綴 166

- 214 **解答**: b, c  
 伝達麻酔は知覚神経伝導路の途中に局所麻酔を注入することにより末梢側を麻痺させる方法である。  
 a× 浸潤麻酔では針の長さが20~25 mmの注射針を使用するのに対し、伝達麻酔では30 mm程度の長い針を使用する。  
 b○ ゲージは針の太さを示し、数値が大きいほど細い。浸潤麻酔には主に30ゲージを使用する。  
 c○ 下顎孔伝達麻酔を行い、下歯槽神経、舌神経を麻痺させる。麻痺範囲は下顎半側の下口唇、舌側歯肉、舌の前2/3、臼歯の歯髄・歯根膜である。  
 d× 伝達麻酔では血管内に針先が迷入していないか吸引して確認できるように、プランジャーの先端がもり状、らせん状のものを使用する。

**文献**: 歯科診療補助 98  
 口腔外科学・歯科麻酔学 168-170  
 最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 188-190

- 215 **解答**: b  
 拔牙には、普通拔牙、難拔牙、埋伏歯拔牙があるが、それぞれの適応症および特徴を理解し、それに応じた器具を術式を追って把握することは、口腔外科領域の介助を行ううえで重要である。  
 a○ 病巣の搔爬を行う。  
 b× 通常、マレットはマイセルとともに骨削除のために使用し、埋伏歯拔牙において使用することが多い。  
 c○ エレベーターと拔牙鉗子のみで抜去できる場合を通常、普通拔牙とする。  
 d○ 拔牙を行うにあたり局所麻酔は不可欠である。

**文献**: 口腔外科学・歯科麻酔学 124-131  
 歯科器械の知識と取り扱い 154-155  
 最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 235-238

- 216 **解答**: c  
 頭部エックス線規格写真から骨格や歯の像をトレースし、計測点の位置や基準平面の関係より骨格形態、歯軸の傾斜などを分析する。  
 a× S-N平面はセラ(S)とナジオン(N)を結ぶ平面である。  
 b× ポリオン(Po)はイヤードの最上点である。  
 c○  
 d× F-H平面はフラン克福ルト平面ともいい、ポリオン(Po)とオルビターレ(Or)を結ぶ平面である。メントン(Me)を通り下顎下縁に接する平面は下顎下縁平面である。

**文献**: 歯科矯正学 70-73  
 最新歯科衛生士教本 歯科矯正 48-50  
 ポイントチェック④ 第4版 58-59

## 解答・解説

- 217 **解答**: a, b  
 歯科診療時の障害児への対応としては、障害の種類、程度などをよく理解し、常に全身状態に注意を払う。また、不随意的な運動、突発的行動にすぐに対応できるようにし、短時間の歯科治療を心がける。  
 a○  
 b○  
 c× 急性症状や緊急処置が必要な場合に使用する。  
 d× 歯科治療に対し非(不)協力であったり、全身管理を必要とする場合などに、全身麻酔を行うこともある。

**文献**: 小児歯科学 189-195  
 最新歯科衛生士教本 小児歯科 118-121  
 ポイントチェック⑤ 第4版 172

- 218 **解答**: d  
 二等分法では、フィルムと歯軸がなす角度の二等分線に対して、エックス線を垂直に投影する。中心線(主線)は、撮影対象歯の歯頸部から根尖部付近とする。フィルム上の歯の長さが実際の歯と同様になる投影法で、歯の全体および根尖周囲の骨をフィルム上に正確に写しだす。  
 a× 被写体が伸長して投影されるため不適切である。  
 b× 被写体が短縮して投影されるため不適切である。  
 c× このような照射の二等分法はない。  
 d○

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科放射線 33-35

- 219 **解答**: d  
 貧血の検査では、赤血球数、ヘモグロビン量、ヘマトクリット値を測定して、貧血の有無を判定する。貧血の場合、これらの数値は必ずしも平行して減少するわけではなく、3つの数値よりウィントロップの平均赤血球恒数を求め、貧血の型を分類する。  
 a○ 年齢や性別によって基準値が変わる。赤血球は数を測定するほか、顕微鏡で大きさ、形、染色性などからも貧血を判断する。  
 b○ ヘモグロビンは赤血球に含まれる色素タンパク質で、各組織に酸素を運搬する。欠乏すると貧血を引き起こす。  
 c○ 血液中に占める赤血球の容積を%で表したもの。貧血や赤血球増多症などの有無や程度の判定のほか、循環血液量などの判定に用いられる。  
 d× 外因性凝固機序のスクリーニング検査で、凝固因子の異常を調べる検査である。

**文献**: 臨床検査法 74-79  
 最新歯科衛生士教本 臨床検査 26-27、71-72

- 220 **解答**: b, d  
 一次救命処置は特殊な器具や医薬品を用いることなく、医師以外の者も行える行為である。一次救命処置のABCは、①Airway(気道確保)、②Breathing(人工呼吸)、③Circulation(心マッサージ)を示す。  
 a× 気管切開は二次救命処置で、医師または十分に訓練を受けた者が医師の指導のもとに、器具や医薬品を用いて行う心肺蘇生法である。  
 b○  
 c× 薬剤の投与は二次救命処置である。  
 d○ 心マッサージは心停止が疑われ、大血管に脈がなく、瞳孔が開いている場合に人工呼吸とともに行われる。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 209-215、259-262

科目別問題番号一覧表

	問題数	A	B
解剖学	7	問 1~4	問 111~113
生化学	3	問 5	問 114~115
生理学	7	問 6~9	問 116~118
病理学	5	問 10~11	問 119~121
微生物学	5	問 12~14	問 122~123
薬理学	5	問 15~16	問 124~126
口腔衛生学	15	問 17~24	問 127~133
衛生学・公衆衛生学	16	問 25~32	問 134~141
栄養学	5	問 33~34	問 142~144
歯科衛生士概論	2	問 35	問 145
歯科臨床の基礎	3	問 36	問 146~147
保存修復学	5	問 37~39	問 148~149
歯内療法学	5	問 40~41	問 150~152
歯周治療学	5	問 42~44	問 153~154
歯科補綴学	7	問 45~47	問 155~158
口腔外科学	7	問 48~51	問 159~161
歯科矯正学	7	問 52~54	問 162~165
小児歯科学	7	問 55~58	問 166~168
高齢者歯科学	5	問 59~60	問 169~171
障害者歯科学	5	問 61~63	問 172~173
歯科予防処置	32	問 64~79	問 174~189
歯科保健指導	30	問 80~94	問 190~204
歯科診療補助	32	問 95~110	問 205~220
計	220		

(出題数は当社予測による)

2013年1月28日

国家試験ご担当先生各位

医歯薬出版株式会社 歯科衛生士模試係  
Tel.03-5395-7630 Fax.03-5395-7633

「平成24年度 歯科衛生士校内模擬試験⑤麒麟」  
訂正のお願い・不適切問題のお知らせ

拝啓

時下、先生にはますますご健勝にてご活躍のことと拝察いたします。

弊社出版物につきましては、平素より格別なるご愛顧、ご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、さっそくですが標記模擬試験につきまして一部誤植があることが判明いたしました。つきましては、お手数でたいへん申しわけございませんが、学生の方々にお知らせいただけますようお願い申し上げます。

ご迷惑をおかけしたたいへん恐縮に存じます。お詫び申し上げますとともに上記、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

敬具

「平成24年度 歯科衛生士校内模擬試験⑤麒麟」訂正  
お手数でたいへん恐縮ですが、下記のように訂正をお願い申し上げます

-----問題の訂正-----

【A問題 問9】選択肢の誤植

選択肢 (誤)	→	選択肢 (正)
a ①		a ①
b ②		b ②
d ③		c ③
c ④		d ④

選択肢順番 d, c の入れ替え。③④はそのままです。  
解答・解説は (正) に準じて記載されております。

-----解答・解説の訂正-----

【問34】(8頁)

(誤) d ○ コラーゲンが熱変性.....ゼラチンのアミノ酸スコアは0である。

(正) d ○ コラーゲンが熱変性.....ゼラチンのアミノ酸スコアはほぼ0である。

【問134】(33頁)

(誤) b 船員保険は総合保険である

(正) b ×

船員保険は平成22年より、職務上の疾病は「労働者災害補償保険制度」、失業などは「雇用保険制度」で給付することになりました。また、年金保険は厚生年金保険に含まれます。

問134は正答がなく不適切問題と判明しましたので、採点から除外させていただきます。

以上